



施工説明書



メーカー
管理用です。

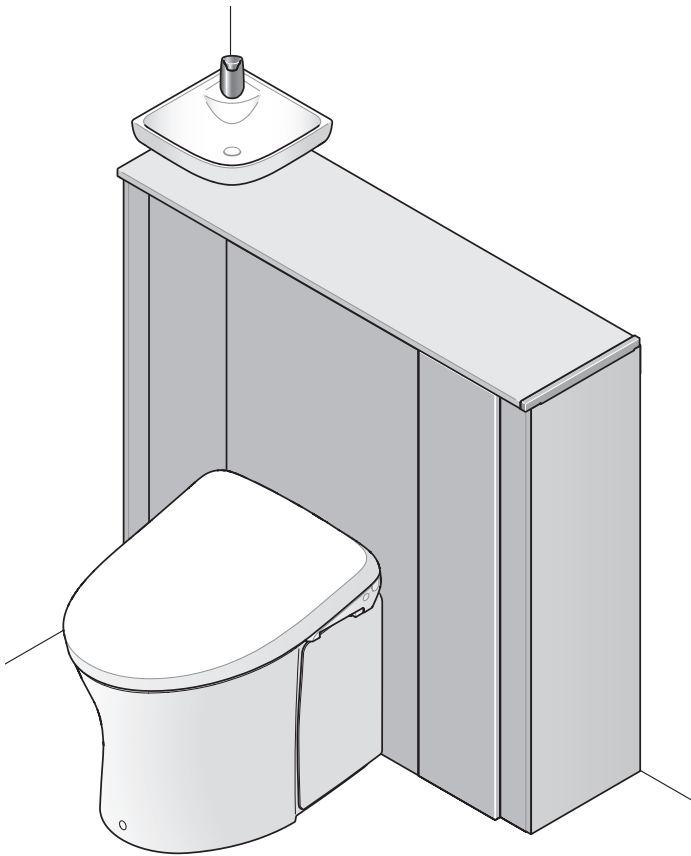
住宅用システムトイレ レストパル

I型 壁排水
まるごと収納タイプ (UWTA)
収納タイプ (UWTB)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品タイプの確認	2
情報編	3
1. 安全上のご注意	4
2. 取付前のご注意	6
3. 部品の確認	15
4. 施工ダイジェスト	20
手順編	21

動画を見る

施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画がご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

工事店様へ

☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

☐ 取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

☐ 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

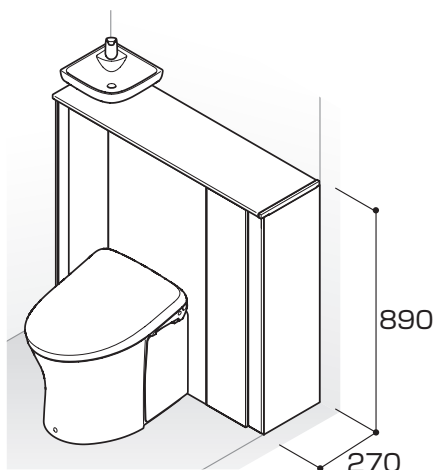
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器・キャビネットタイプ

手洗器あり

収納タイプ

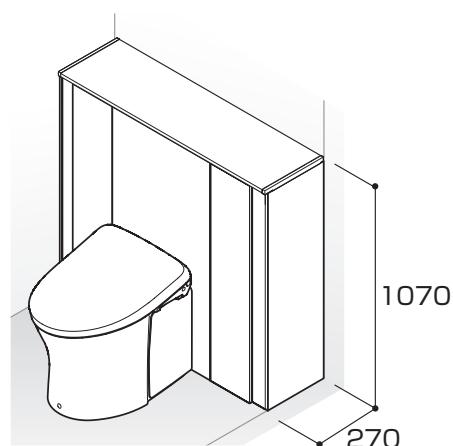
品番:UWTB*4～



手洗器なし

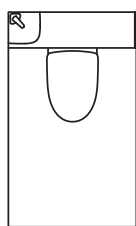
まるごと収納タイプ

品番:UWTA*N～

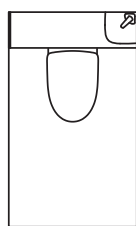


手洗器位置

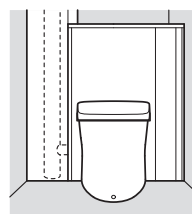
左勝手



右勝手



立管あり



隠ぺいタイプ



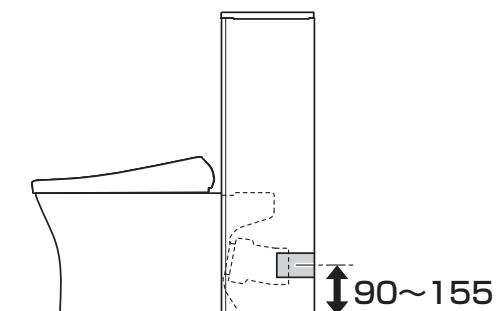
露出タイプ

給排水タイプ

後ろ抜き

給水新設

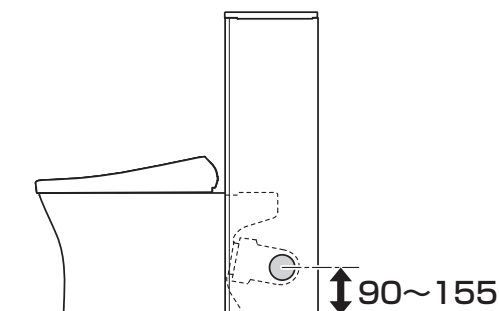
既存給水流用(リモデル用)



左右抜き

給水新設

既存給水流用(リモデル用)



情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取付前のご注意 ▶ 6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	6
3	排水位置	7
4	給水位置	8
5	補強材位置	10
6	電気配線	12
7	幅木	13
8	窓枠	13
9	必要工具	14

3. 部品の確認 ▶ 15

4. 施工ダイジェスト ▶ 20

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造は
しない
商品が破損し、けがや重大事故の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電気部品に触れない
感電の原因となります。



接触禁止

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



水場使用
禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれ
があります。



禁止

指定する電源(AC100V)以外では使用しない
火災の原因となります。

電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因と
なります。

破損とは…

傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など

屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の
激しい場所に取り付けない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれ
があります。

給水および排水管の真下部にコンセントを設置
したり、フレキホースと電源プラグ、コンセントを
接触させない
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電
の原因となります。

電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの差し
込みがゆるいまま使用しない
火災や感電の原因となります。

がたついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。

器具取付用のねじ固定部の床・壁裏には、配管・配線
を通さない
火災や感電の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因と
なります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の
原因となります。

水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は
使用しない
皮膚の炎症などを起こす原因となります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因となります。



アース接続

アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず守る

コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に
記載された位置・方法・注意事項に従う
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や
感電の原因となります。

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用
プラグ(現場手配)を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。

警告

 必ず守る	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する商品が落下したり、外れてけがのおそれがあります。	
	石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	手洗器クッション材のはり付けおよび必要箇所へのシリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に行う水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
	商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないか確認する商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	

注意

 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	フレキホースが破損するようなことをしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
	商品に乗らない、重い物を載せない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
 必ず守る	給水フィルター、機能部フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する けがのおそれがあります。	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしない 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	水平器を用いて水平に設置する 物が落下してけがのおそれがあります。
	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		便器の水たまり部を見て、封水が切れていないか確認する封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じる原因となります。

2. 取付前のご注意

- ・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ・便器を防火区画貫通部より 1m 以内に設置の場合は、事前に所轄消防署にご確認のうえ、その指示に従ってください。
- ・キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外ははらないでください。
- ・ボードアンカーは、引抜強度 200N 以上のものを使用してください。

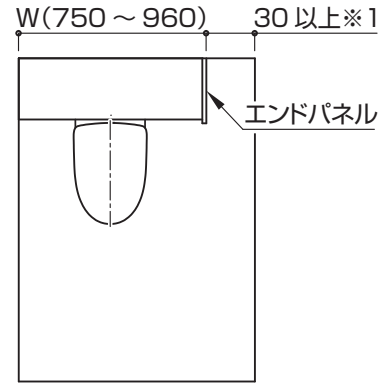
参照 ウォシュレットへの通電：ウォシュレットの施工説明書

エンドパネルを設置する場合

エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。

ただし、以下条件の場合は設置できません。

- ・排水抜き方向側への設置
- ・手洗器側への設置
- ・立管タイプの場合
- ・両側への設置

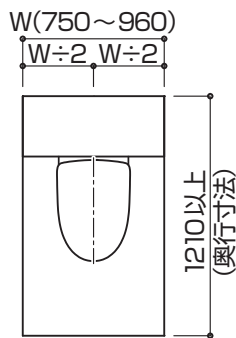


※図はエンドパネルLタイプの場合

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

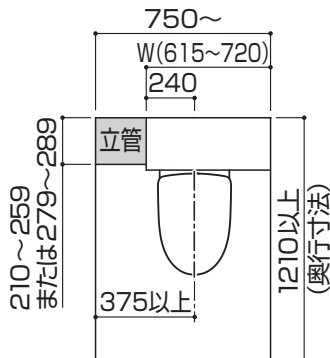
1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。
範囲外の間口には対応できません。



立管ありの場合

図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右反転となります。

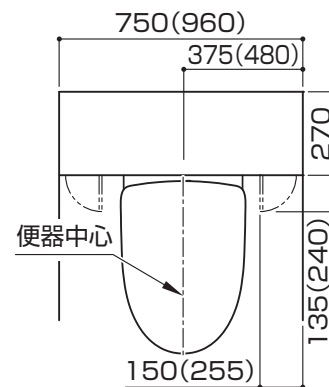


※図は立管隠ぺいタイプの場合

2 キャビネット扉の開閉範囲

- ・図の扉開閉範囲内に障がい物がないことをご確認ください。
- ・図は間口 750mm と 960mm の場合です。

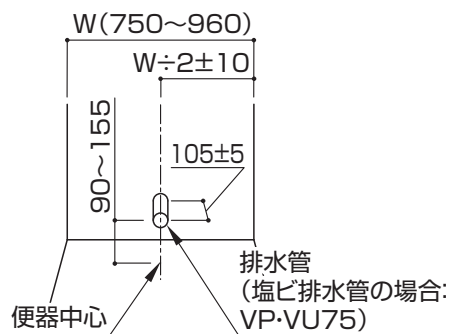
※() 寸法は間口 960mm の場合。



3 排水位置

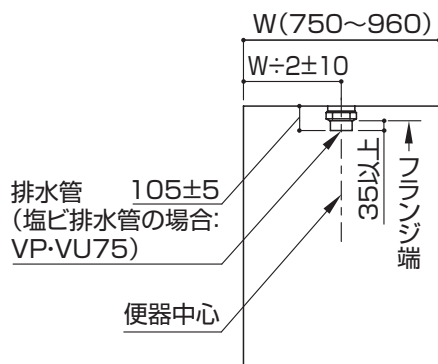
- ・ VP・VU100には接続できません。
- ・ 排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・ 便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。

後ろ抜きの場合



【フランジ付きの場合】

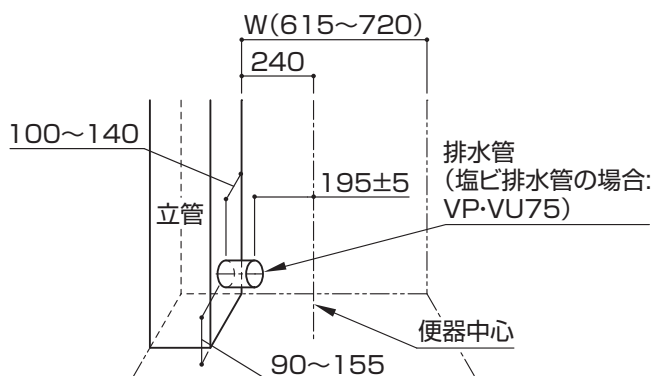
排水位置高さは90~155mmです。



立管あり 左右抜きの場合

図は左抜きの場合です。

右抜きの場合は左右反転となります。

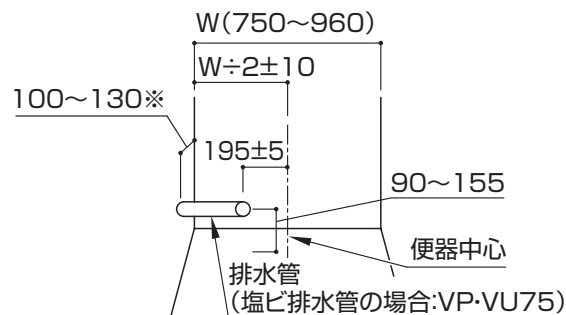


※図は立管隠ぺいタイプの場合

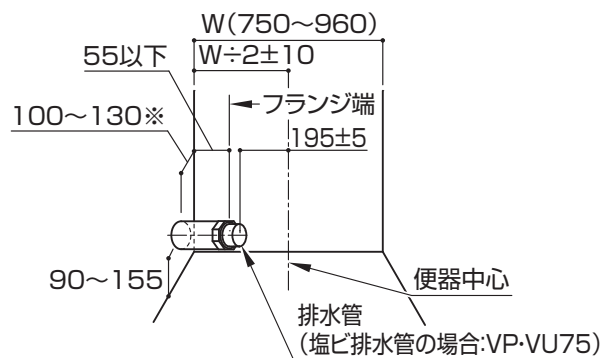
左右抜きの場合

図は左抜きの場合です。

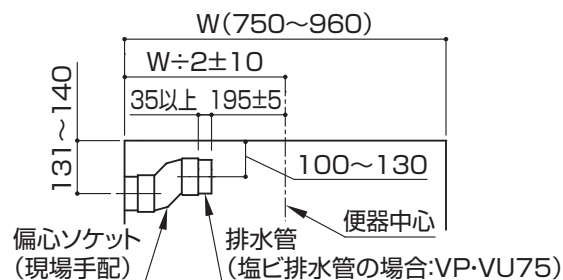
右抜きの場合は左右反転となります。



【フランジ付きの場合】



※排水位置が後壁から131~140mmの場合は、別途偏心ソケットを手配し図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。



2

取付前のご注意

MEMO

4 給水位置

給水圧力は以下の範囲で使用してください。

最低必要水圧(流動時):0.05MPa

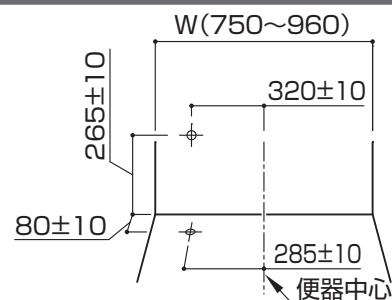
最高水圧(静止時):0.75MPa

給水温度:40℃以下

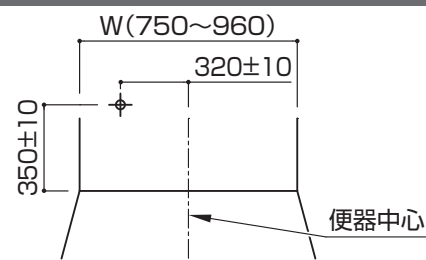
給水新設

- ・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・図の位置に給水管(Rc 1/2)の中心があることをご確認ください。

後ろ抜きの場合



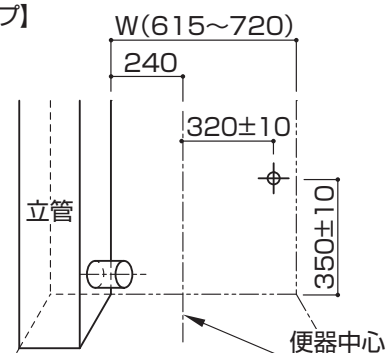
左右抜きの場合



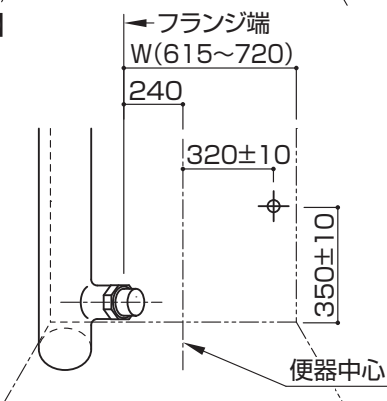
立管あり 左右抜きの場合

- ・図は左抜きの場合です。
- ・右抜きの場合は左右反転となります。
- ・立管左抜きの場合、**延長用ホース(TN98L2X30)**を別途ご発注ください。

【隠ぺいタイプ】



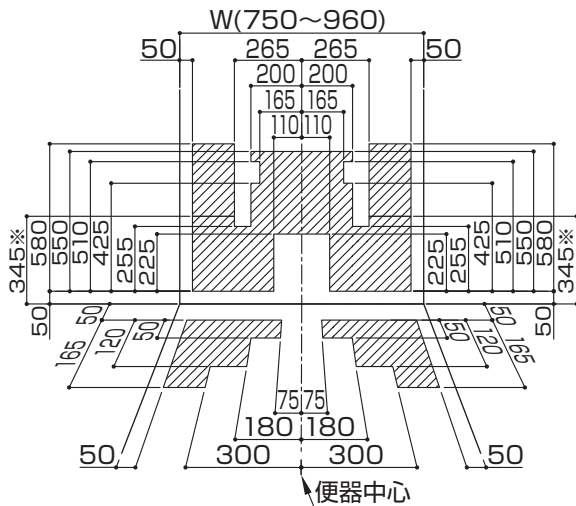
【露出タイプ】



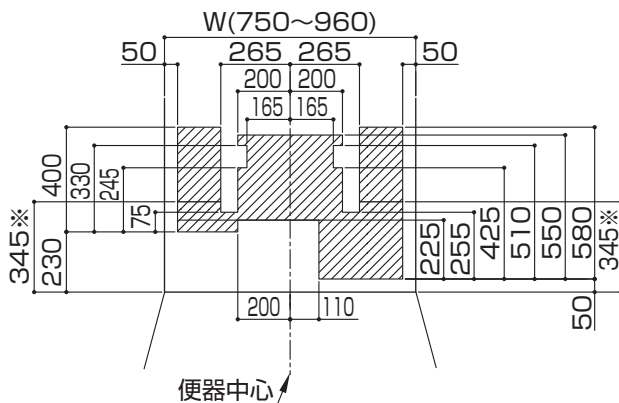
既存給水流用（リモデル用）

- ・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・給水位置が便器中心より右側の場合、**延長用ホース(UGTN98L2X50RS)**を別途で発注ください。
- ・※印より上に給水位置がある場合、干渉により取り付けられる棚板の数が減少する場合があります。

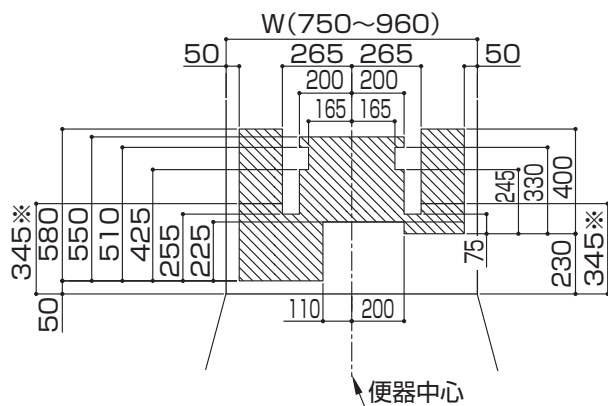
後ろ抜きの場合



左抜きの場合

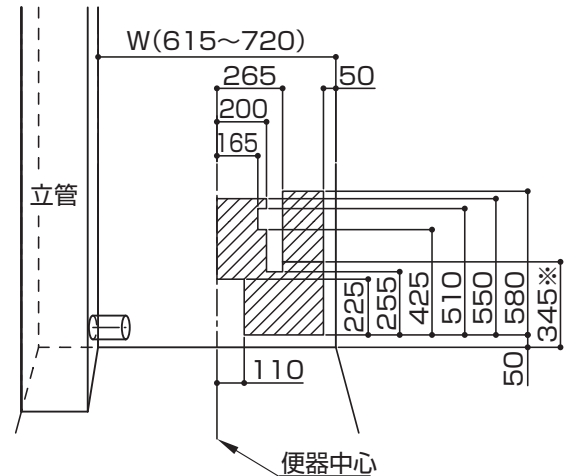


右抜きの場合



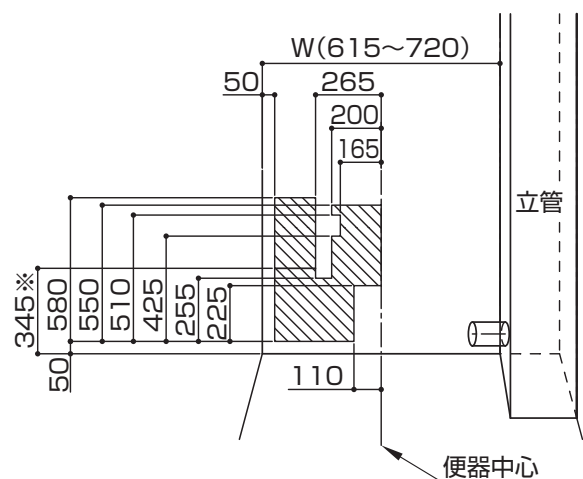
立管あり 左抜きの場合

立管左抜きの場合、**ウォシュレット用給水ホース(TCA525)**を別途で発注ください。



※図は立管隠ぺいタイプの場合

立管あり 右抜きの場合



※図は立管隠ぺいタイプの場合

5 補強材位置

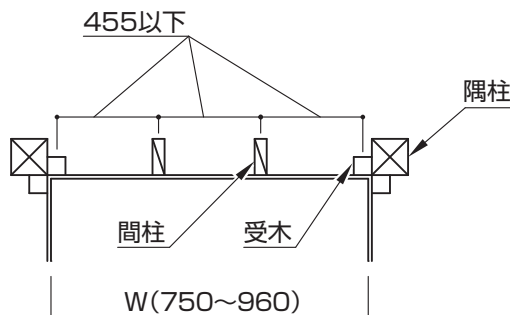
ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
 [URL]
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejiichijoho/kinejiichijoho.htm>



木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。

立管なし

間柱および受木、または軽量鉄骨(スタッド)が所定の位置にあることをご確認ください。



壁裏補強なし

後壁について

壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱および受木または軽量鉄骨(スタッド)に固定します。

横壁について

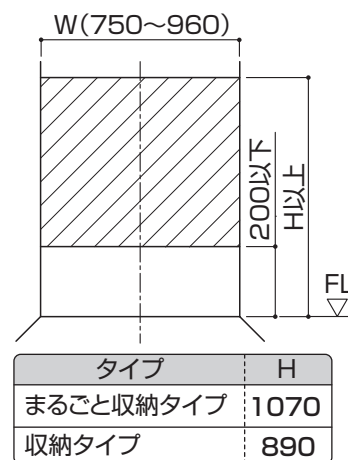
壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション: UGA490A)をご使用ください。

壁裏補強あり

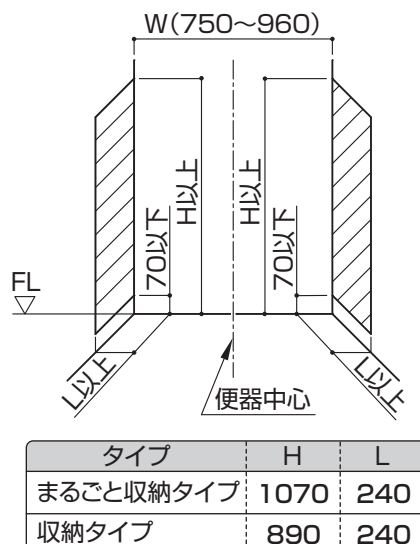
- ・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書

後壁について



横壁について

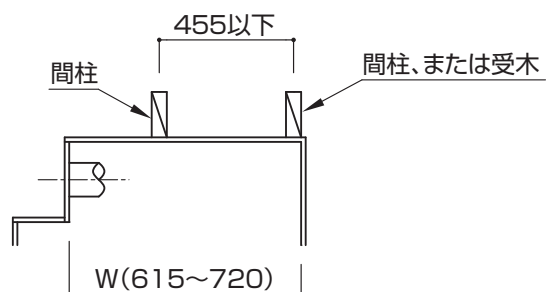


立管あり

壁裏補強なし

壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー（オプション：UGA490A）をご使用ください。

※軽量鉄骨（LGS）の場合も同様です。



※図は立管隠ぺいタイプの場合

壁裏補強あり

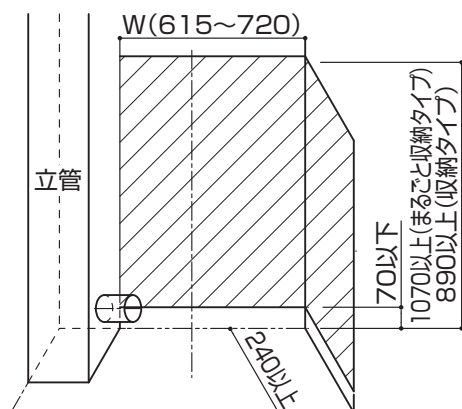
・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。
図の斜線範囲（周辺部材を設置する場合は取付面）にt12以上の普通合板（JAS規格品）を入れてください。

・図は左抜きの場合です。

右抜きの場合は左右反転となります。

※軽量鉄骨（LGS）の場合も同様です。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書



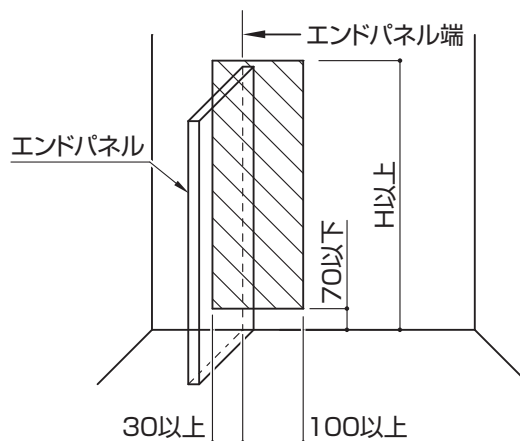
※図は立管隠ぺいタイプの場合

エンドパネル部

・図の斜線範囲にt12以上の普通合板（JAS規格品）を入れてください。

・図はエンドパネルRタイプの場合です。

Lタイプの場合は左右反転となります。



タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
収納タイプ	890

6 電気配線

- 各器具の定格消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。(AC100V50/60Hz共通です。)
- 表以外の電気器具を設置する場合、定格消費電力をご確認のうえ適切な配線を行ってください。

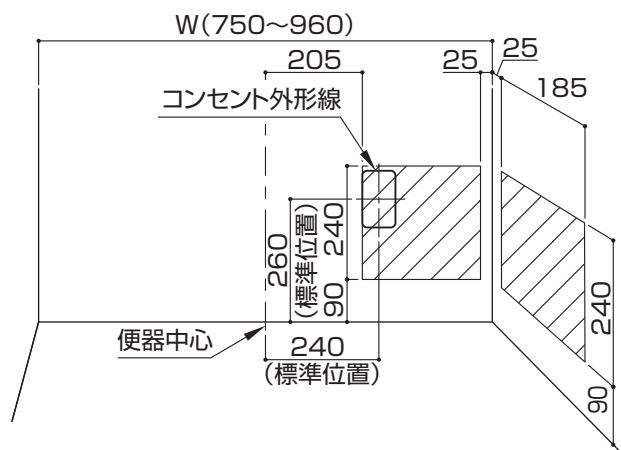
定格消費電力	
ウォシュレット	1280W(F4A)
	1278W(F3A)
	1277W(F1A/F2A)

- 埋込アースターミナル付2口コンセントを取り付けてください。
- コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

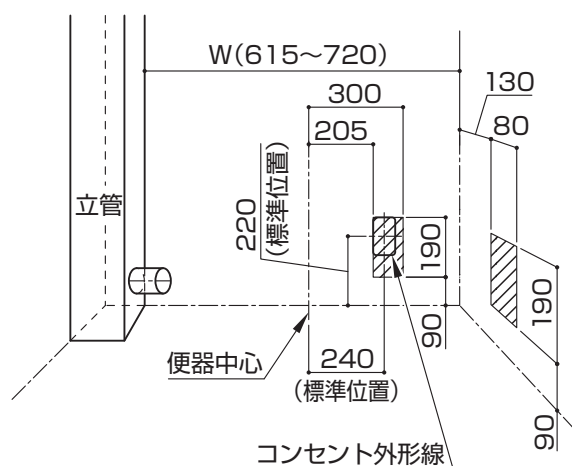
コンセント設置位置

- 既存のコンセントを使用する場合、図の斜線範囲にコンセントの外形が納まることをご確認ください。
- 向かって右側にエンドパネルを使用する場合、横壁のコンセントは使用できません。
- コンセントは給水管の下にならない位置に取り付けてください。

後ろ抜き / 左抜きの場合

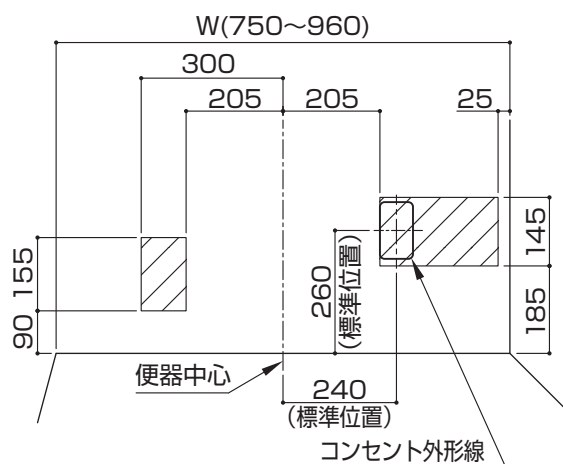


立管あり 左抜きの場合

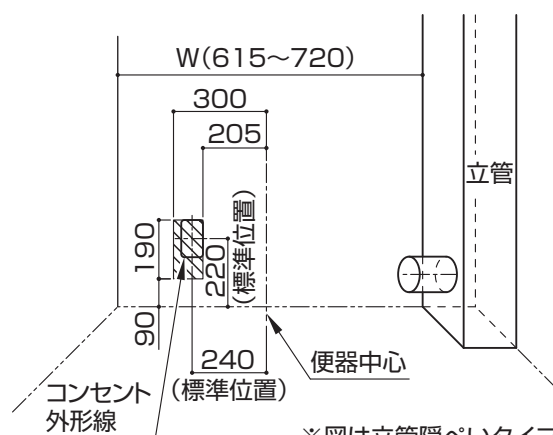


※図は立管隠ぺいタイプの場合

右抜きの場合



立管あり 右抜きの場合



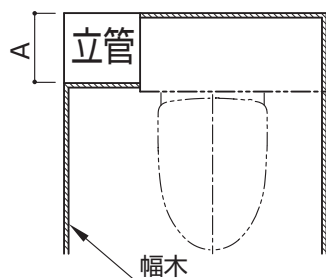
※図は立管隠ぺいタイプの場合

7 幅木

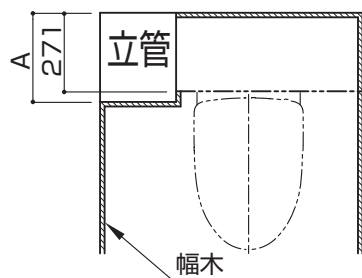
- ・使用する幅木は高さ100mm以下、厚さ10mm以下としてください。
- ・本商品は、立管隠ぺいタイプの場合幅木カットが必要です。（立管隠ぺいタイプ以外の場合は、幅木カット不要で設置できます。）

立管あり 隠ぺいタイプの場合

【立管奥行A=210～259mm】



【立管奥行A=279～289mm】

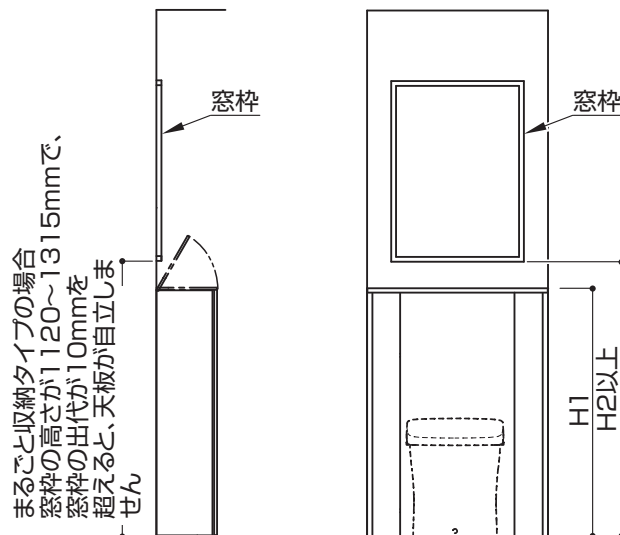


※A寸法が260mm～278mmの場合は、設置できません。

8 窓枠

壁に窓枠や腰壁の笠木などの突起物がある場合、図のような制約が付きます。
事前に商品と干渉しないことをご確認ください。

大便器後壁に窓がある場合

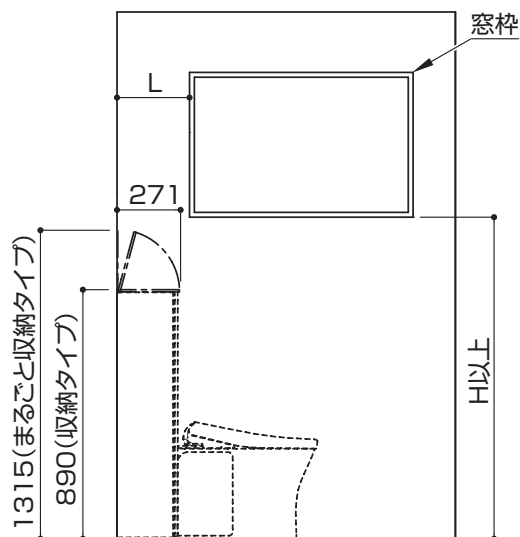


まるごと収納タイプの場合
窓枠の高さが1120～1315mmで、
窓枠の出代が10mmを
超えると、天板が自立し
ません

タイプ	H1	H2
まるごと収納タイプ	1070	1120
収納タイプ	890	1020

※収納タイプの場合、天板は開きません。

大便器横壁に窓がある場合



タイプ	H	
	L=315以上	L=315未満
まるごと収納タイプ	—	1345
収納タイプ	—	1020

※収納タイプの場合、天板は開きません。

2

取付前のご注意

9 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具をご用意ください。



電動ドライバー
・(+) ϕ 65mm、200mm
#2ビット
・(+) ϕ 200mm
#3ビット



ドライバー
(給水フィルター清掃用)



電動ドリル
 ϕ 3、 ϕ 4.5、 ϕ 5、 ϕ 10



のこぎり



ナット締付工具
(品番:TZY15N
またはTZ15L)
(手洗器ありの場合)



スタビー
ドライバー(+)
#2ビット



プラスドライバー
 ϕ 65mm、200mm
#2ビット

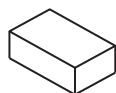


シールテープ

MEMO

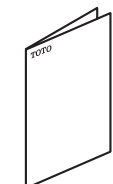
3. 部品の確認

専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。



詰め合わせ箱

施工説明書



施工説明書
(1冊)



ちらし
(1枚)

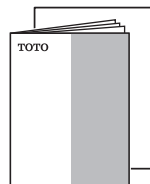


クッション材
(1個)



ラベル
(4枚)

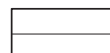
取扱説明書



取扱説明書・ちらし
(1セット)



開閉工具
(1個)



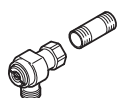
品番表示
ラベル
(2枚)

止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

【給水新設用】

壁給水



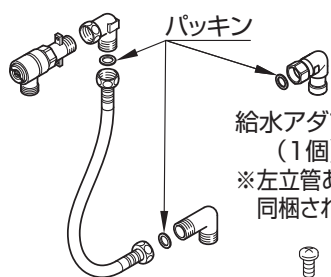
(1セット)

床給水



(1セット)

【既存給水流用】



(1セット)

給水アダプター
(1個)

※左立管ありの場合には
同梱されていません。

なべ小ねじ
M4×8(2本)



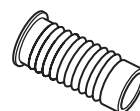
固定板
(1個)



座金付
タッピンねじ
4.5×38(2本)

排水接続管セット

【後ろ抜き】

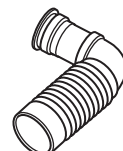


排水接続管
(1個)



ホースクランプ
(2個)

【左右抜き】



排水接続管
(1個)

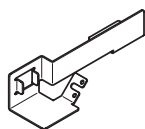


ホースクランプ
(2個)

付属材セット (キャビネット)

カバー(配管)
(1個)

取付材セット

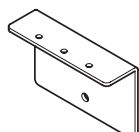


取付材
(洗浄レバー)
(1個)



トラス
タッピンねじ
5×14(2本)

付属材セット



アングル
(1個)

トラスタッピンねじ
4×40(2本)

バインドタッピンねじ
4×8(2本)



洗浄レバー
(1個)

ねじセット(キャビネット用)



ボードアンカー
(4本)



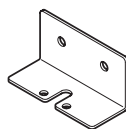
トラスタッピンねじ
4×40(6本)



トラスタッピンねじ
4×12(1本※)
※手洗器ありの場合には同梱されていません。

【手洗器ありの場合】

取付材セット



取付材
(1個)

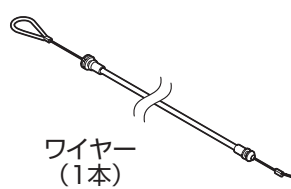


結束バンド
(2個)

トラスタッピンねじ
4×10(2本)

棚ダボ
(1本)

ワイヤーセット



ワイヤー
(1本)

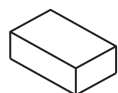
ホースクランプセット



ホース
クランプ
(2個)

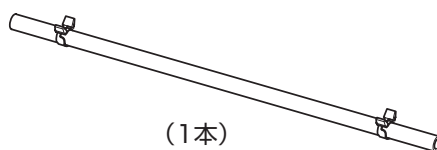


トラス
タッピンねじ
4×12(2本)



詰め合わせ箱（つづき）

給水ホースセット



(1本)

付属材セット（手洗器）※手洗器ありの場合

取付材セット



取付材
(1個)



トラス
タッピンねじ
4×10(2本)

スパウト



(1個)

付属材セット

排水ソケット組品



排水ソケット
(1個)



パッキン
(排水口)
(1個)

付属材セット

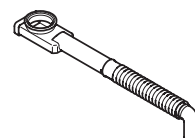


クイック
ファスナー
(1個)



結束バンド
(1個)

接続管組品



(1個)



クッション材
(3個)

付属材セット

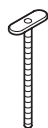


スパウト
固定用ナット
(1個)



パッキン
(スパウト用)
(1個)

取付材セット(手洗器)



Tボルト
M4×70(2個)



ちょうナット4
(2個)

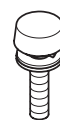


平座金
M6(2個)



ナット4
(2個)

ねじセット(排水ソケット)



ボルト
M4×20(2個)



ワッシャー
(2個)

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット

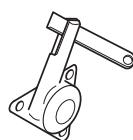


スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



ダンパー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

選択商品

紙巻器（メタル製/樹脂製）



(1箱)

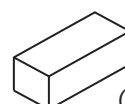
ハンドグリップ



(1箱)

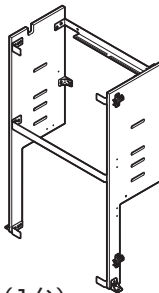
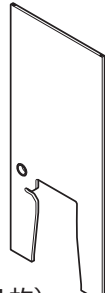
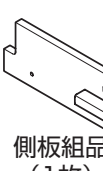
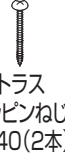
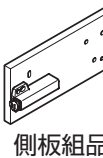
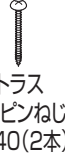
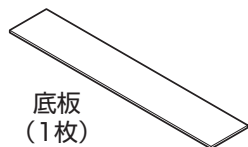
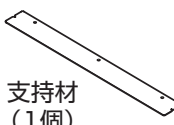
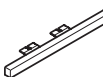
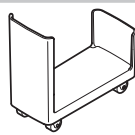
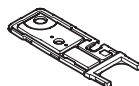
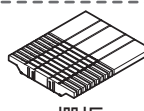
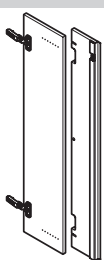
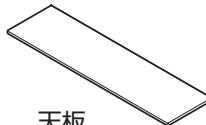
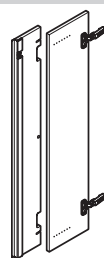
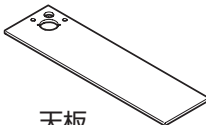
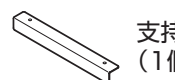
タオル掛け

【壁取付タイプ】



(1箱)

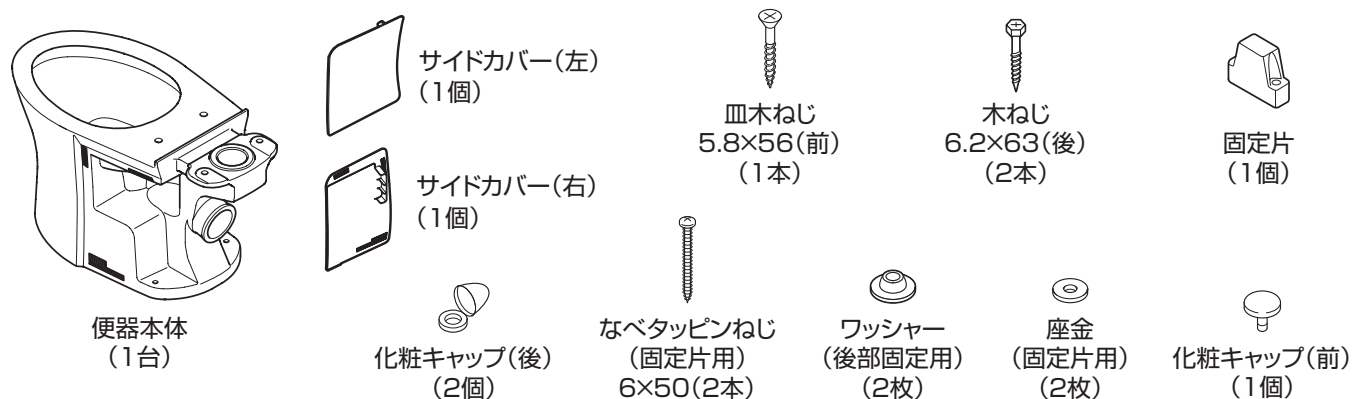
コアキャビネット

コアキャビネット				セットタンク					
コアキャビネット組品  (1台) ※タイプによって形状が異なります。	前板組品  (1枚) ※図はまるごと収納タイプの場合	側板組品(右) 【収納タイプ】  側板組品 (1枚)  トラス タッピンねじ 4×40(2本) 【まるごと収納タイプ】  側板組品 (1枚)  トラス タッピンねじ 4×40(2本)	 ピン(1個) ※ピンはジョイント端に付いています。  固定ナット パッキン (1個)						
	側板組品(左) 【収納タイプ】  側板組品 (1枚)  トラス タッピンねじ 4×40(2本) 【まるごと収納タイプ】  側板組品 (1枚)  トラス タッピンねじ 4×40(2本)								
【まるごと収納タイプの場合】 底板セット  底板 (1枚)  支持材 (1個)  キャップ (1個)  トラスタッピンねじ 4×10(5本)  アングル材 (2個※) ※立管ありの場合、1個  トラスタッピンねじ 4×40(2本※) ※立管ありの場合、1本		引き出しラック  (1台)	 カバー(A) (1個)						
		棚板セット  棚板  支持材 ※タイプによって数量が異なります。 <table><tr><th>タイプ</th><th>セット数</th></tr><tr><td>立管なし</td><td>4</td></tr><tr><td>立管あり</td><td>2</td></tr></table>	タイプ	セット数	立管なし	4	立管あり	2	 カバー(B) (1個)
タイプ	セット数								
立管なし	4								
立管あり	2								
扉セット (左)  扉組品 (1セット)  トラス タッピンねじ 4×20(3本) ※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。	天板セット 【手洗器なし】  天板 (1枚) 取付材セット(横さん)  横さん (1本) キャップセットL  キャップ(L) (1個)  トラスタッピンねじ 4×8(2本) キャップセットR  キャップ(R) (1個)  トラスタッピンねじ 4×8(2本) 皿タッピンねじ 4×50(3本)								
扉セット (右)  扉組品 (1セット)  トラス タッピンねじ 4×20(3本) ※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。	【手洗器あり】  天板 (1枚) 取付材セット(横さん)  横さん (1本) 皿タッピンねじ 4×50(3本) 支持材セット  支持材 (1個)  トラスタッピンねじ 4×8(2本) キャップセット  キャップ (1個)  トラスタッピンねじ 4×8(2本)								



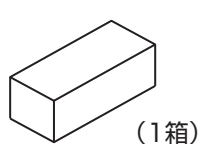
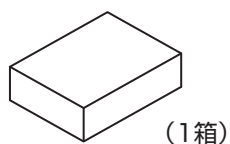
その他包装

大便器



ウォシュレット

便器洗浄ユニット



<下記部品は使用しません>



ワッシャーA (1個)



ワッシャーB (1個)



ハンドル (1個)



コードフック (7個)



結束バンド (1個)



サンドペーパー (1枚)



シール (1枚)



ストッパーL(緑) (1個)



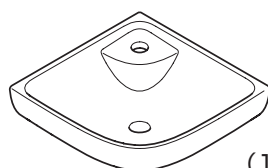
ワイヤー(黒) (1本)

3

部品の確認

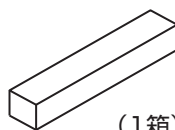
選択商品

手洗器



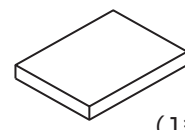
(1台)

木製手すり



(1箱)

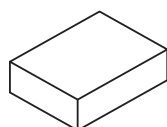
化粧鏡



(1箱)

オプション

防振シート



(1箱)



エンドパネル (1枚)

施工部材セット(エンドパネル用)

ねじセット



アングル材 (3個)



トラス小ねじ 4×18(2本)



トラスタッピンねじ 4×30(9本)



トラスタッピンねじ 4×12(8本)



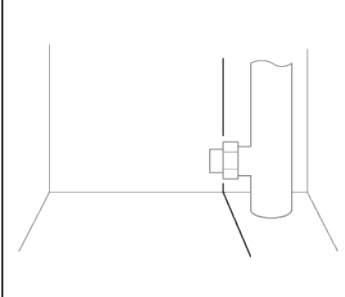
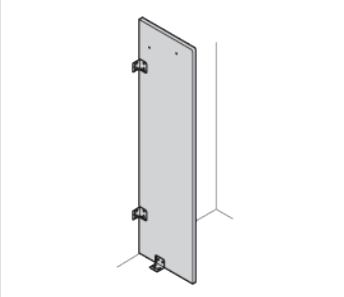
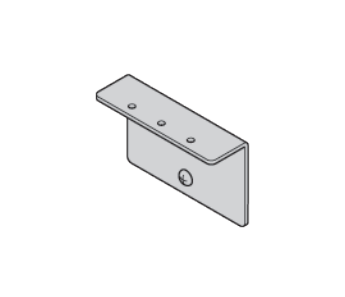
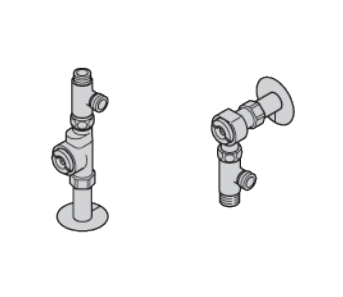
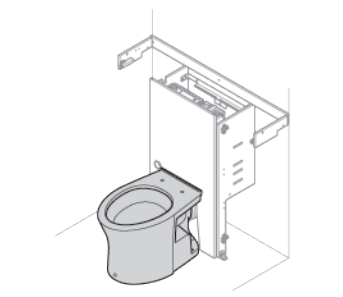
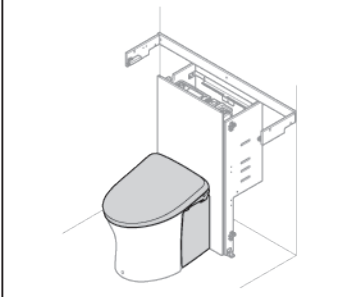
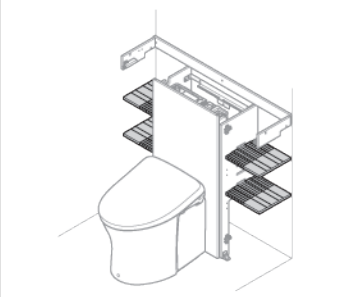
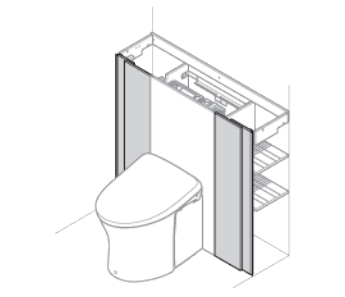
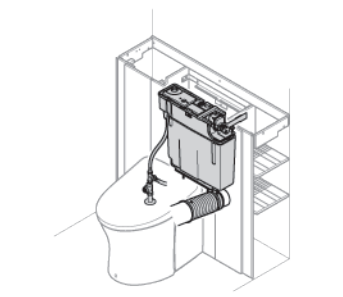
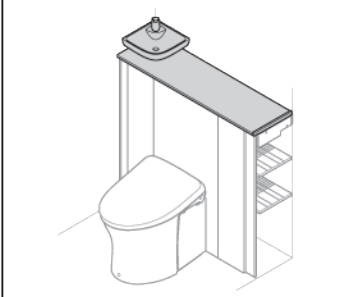
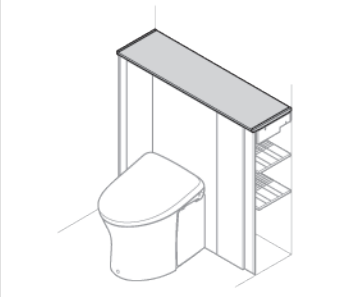
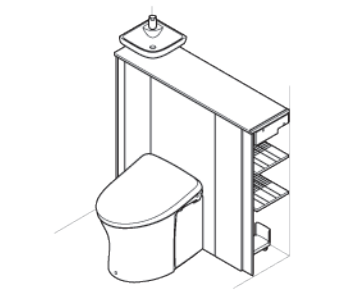
※タイプ・現場状況により
必要数量が異なります。

MEMO

4. 施工ダイジェスト

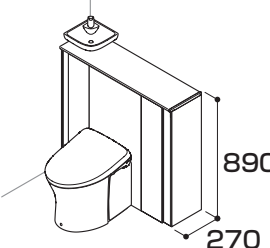
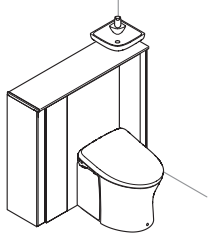
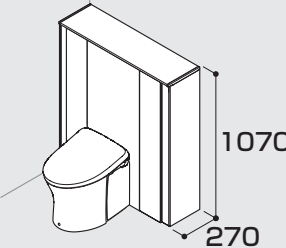
施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

1. 立管対応の準備	2. エンドパネル(オプション)	3. アングル	4. 止水栓
			
5. 大便器の仮設置・排水部材	6. コアキャビネット	7. セットタンク	8. 大便器
			
9. ウォシュレット	10. 棚板	11. 扉	12. 試運転・確認
			
13. 天板 (手洗器あり)	14. 天板 (手洗器なし)	15. 仕上げ	
			

手順編

※商品タイプの確認 ▶ P.2

手洗器あり 収納タイプ		手洗器なし まるごと収納タイプ
左勝手の場合	右勝手の場合	
		

1. 立管対応の準備	▶ 22
2. エンドパネル（オプション）	▶ 23
3. アングル	▶ 24
4. 止水栓	▶ 25
5. 大便器の仮設置・排水部材	▶ 28
6. コアキャビネット	▶ 30
7. セットタンク	▶ 37
8. 大便器	▶ 42
9. ウォシュレット	▶ 43
10. 棚板	▶ 46
11. 扉	▶ 48
12. 試運転・確認	▶ 50
13. 天板（手洗器あり）	▶ 57
14. 天板（手洗器なし）	▶ 63
15. 仕上げ	▶ 66

マーク説明（例）



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。
（例：φ3の場合）



手締めで
電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シール
シールテープを巻いて
ください。



脱脂
脱脂用アルコールで
脱脂してください。

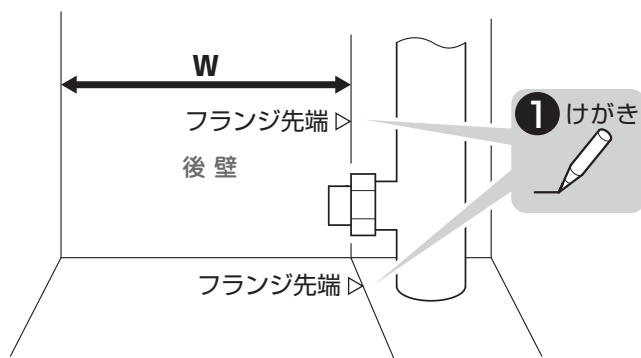


外周塗布
塩ビ用接着剤を塗布して
ください。
（例：塗布の場合）

1. 立管対応の準備

立管あり(露出タイプ)以外は
P.23「2. エンドパネル」へ

1 フランジ先端のけがき



MEMO

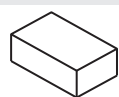
2. エンドパネル（オプション）

エンドパネルなしの場合は
P.24 「3. アングル」へ

2

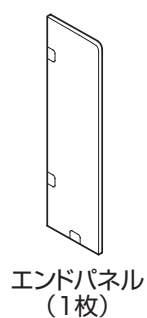
エンドパネル（オプション）

使用部材



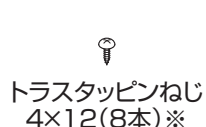
その他包装

エンドパネル



施工部材セット(エンドパネル用)

ねじセット



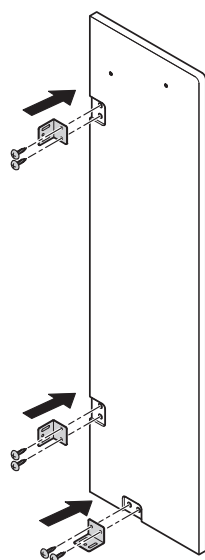
※残り2本は4.止水栓で使用

1 アングル材の取り付け

① 手締めで



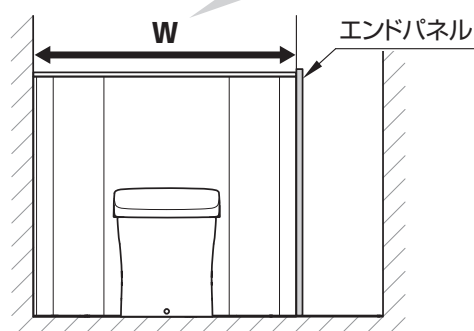
トラスタッピンねじ
4×12(6本)



3 エンドパネルの取り付け

【完成イメージ】

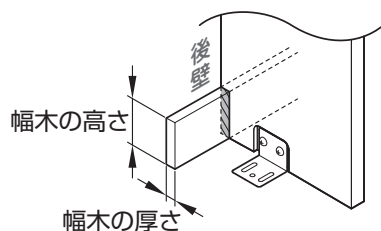
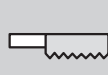
① 測定



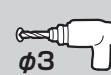
2 エンドパネルのカット

幅木がある場合

① 測定 → けがき → カット



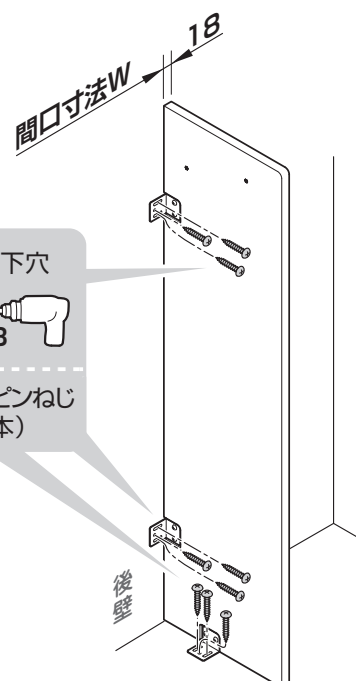
② けがき → 下穴



③ トラスタッピンねじ 4×30(9本)

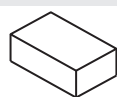


トラスタッピンねじ
4×30(9本)



3. アングル

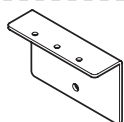
使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

付属材セット



アングル
(1個)



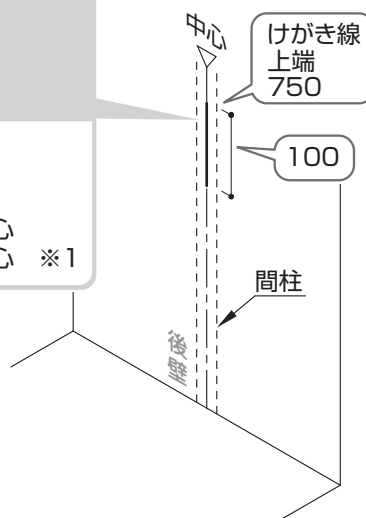
トラスタッピンねじ
4×40 (2本)

1 アングルの取り付け

1 けがき



【壁裏補強なしの場合】
間柱中心
【壁裏補強ありの場合】
立管なしの場合:間口中心
立管ありの場合:便器中心 ※1



※1 便器中心位置はP.7 **3** 排水位置の図を参考にしてください。

2 けがき線と固定穴の位置をあわせる

けがき線

アングル

3 水平確認



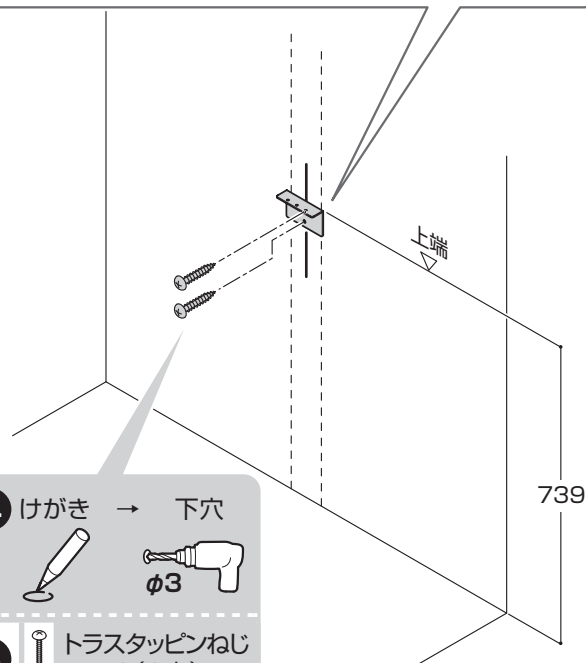
アングルの水平が出ていないと、キャビネット全体が傾き、扉の開閉ができなくなる可能性があります。

4 けがき → 下穴



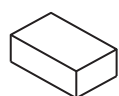
φ3

5 トラスタッピンねじ 4×40 (2本)



4. 止水栓

使用部材

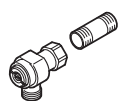


詰め合わせ箱

止水栓

【給水新設用】

壁給水



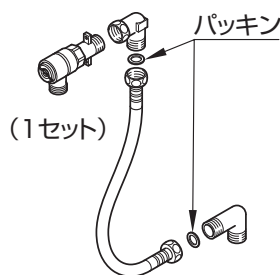
(1セット)

床給水



(1セット)

【既存給水流用】



(1セット)



固定板
(1個)



なべ小ねじ
M4×8(2本)



座金付タッピンねじ
4.5×38(2本)

付属材セット (キャビネット)

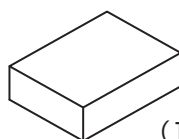


カバー(配管)
(1個)



その他包装

ウォシュレット



(1箱)

給水新設の場合

▶ P.25

既存給水流用の場合

▶ P.26

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠ 注意

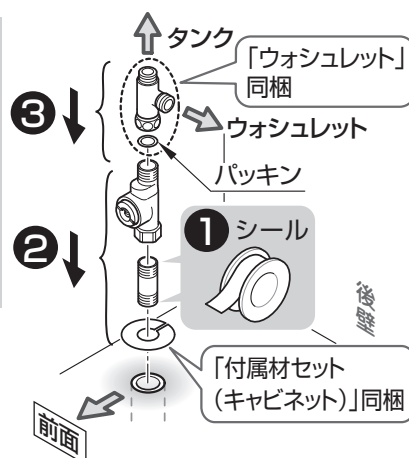
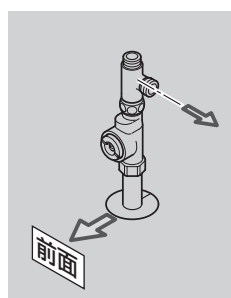


必ず守る

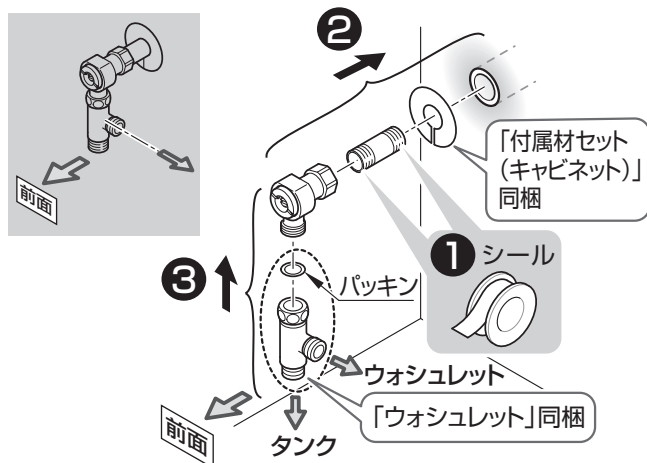
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがない
ため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみ
や異物詰まりによる止水・吐水不良を起こす
おそれがあります。

※取付位置は左右勝手とも正面向かって左となります

床給水

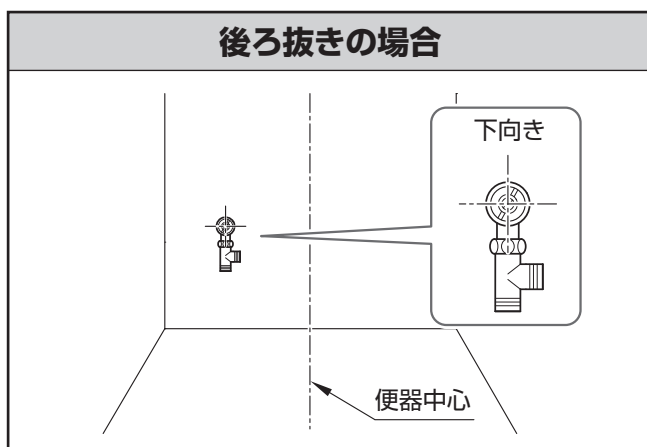


壁給水

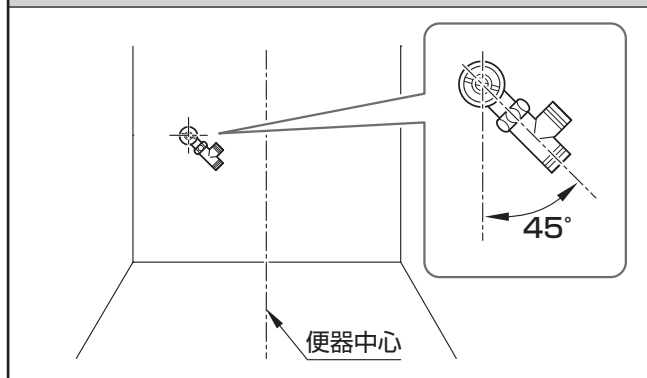


④ 排水方向によって止水栓向きを調整する

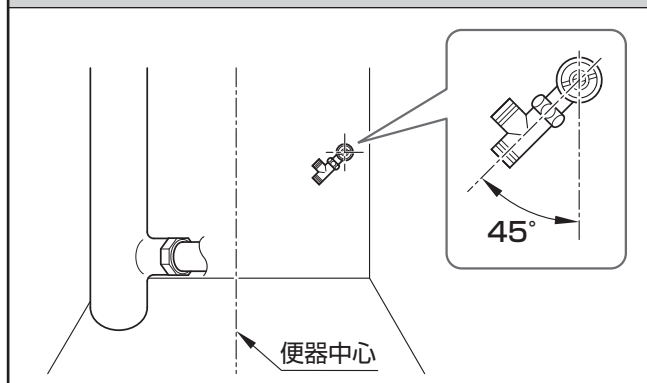
後ろ抜きの場合



左右抜き/右立管ありの場合



左立管ありの場合



既存給水流用

1 止水栓・分岐金具の取り付け

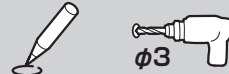
! 注意



必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

① けがき → 下穴※



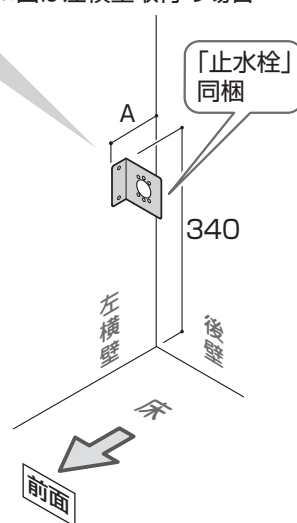
※図は左横壁取付の場合

※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)

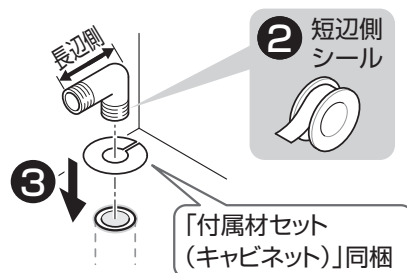


排水方向	A
後ろ抜き	85
右抜き	85
左抜き	170
立管が右側の場合	85
立管が左側の場合※1	85

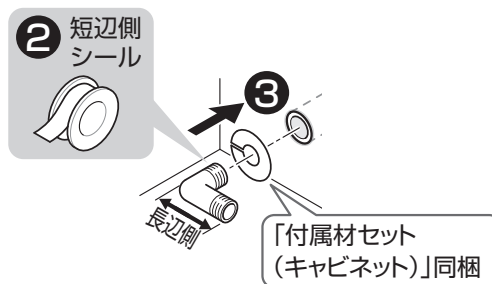
※1 止水栓は右側に取り付けのため、左右反転となります。

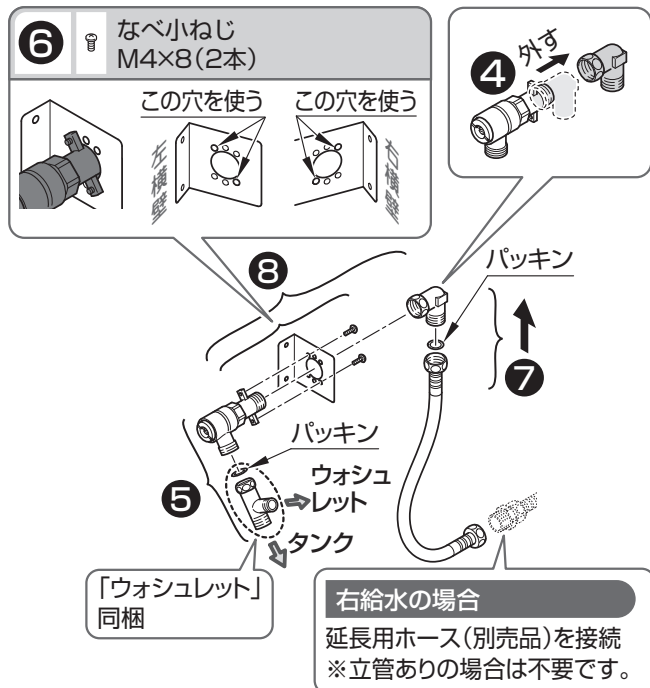


床給水



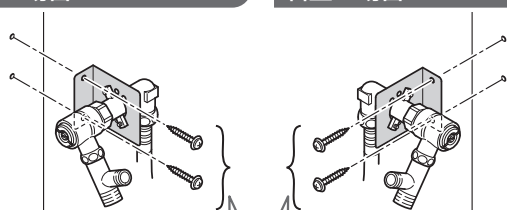
壁給水





左壁の場合

右壁の場合

**9** 手順①であけた左横壁下穴に取り付け

座金付タッピンねじ
4.5×38(2本)

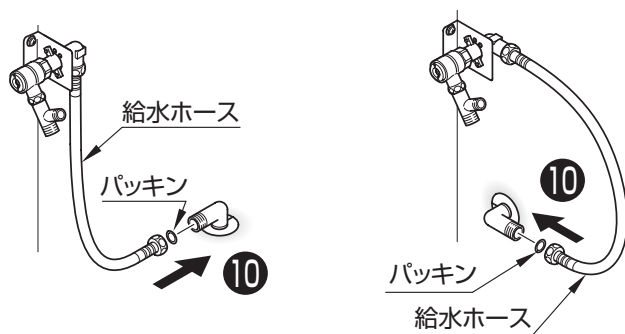
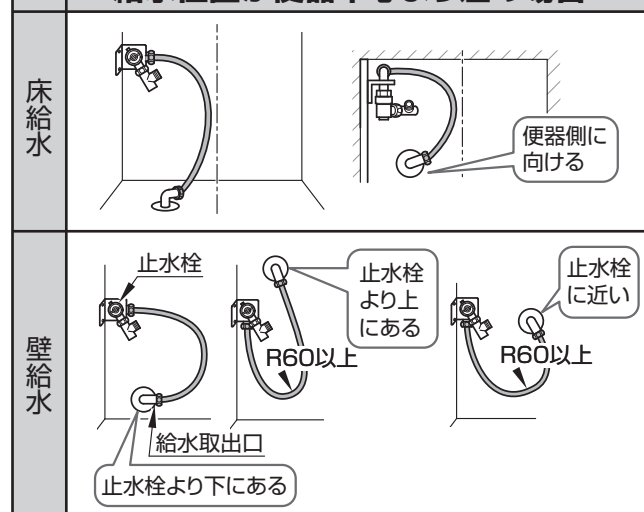
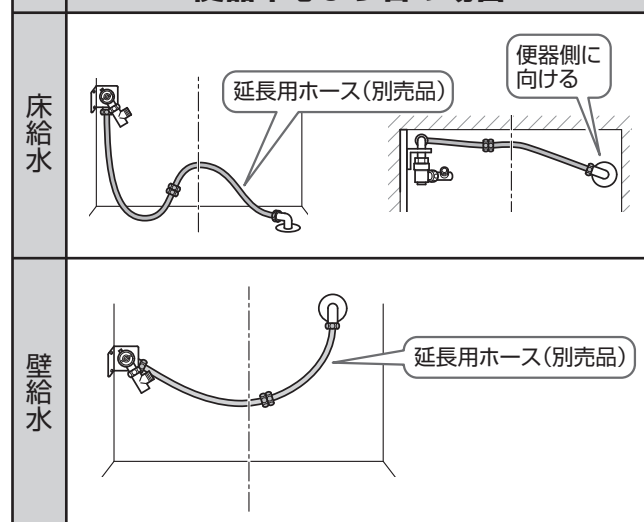
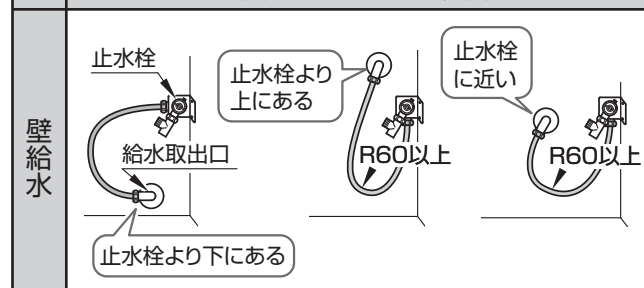
エンドパネルありの場合

手締めで「エンドパネル」同梱

 トラストタッピンねじ
4×12(2本)

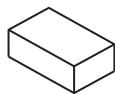
床給水

壁給水

**2** 給水ホースの取り回し**給水位置が便器中心より左の場合****給水位置が
便器中心より右の場合****立管が左にある場合**

5. 大便器の仮設置・排水部材

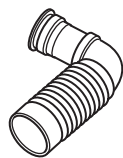
使用部材



詰め合わせ箱

排水接続管セット

【左右抜き】
【後ろ抜き】



排水接続管
(1個)※
※図は左右抜き

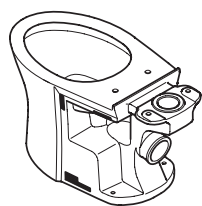


ホースクランプ
(2個)



その他包装

大便器



便器本体
(1台)



固定片
(1個)

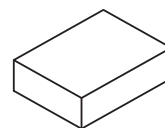


なべタッピンねじ
(固定片用)
6×50(2本)



座金
(固定片用)
(2枚)

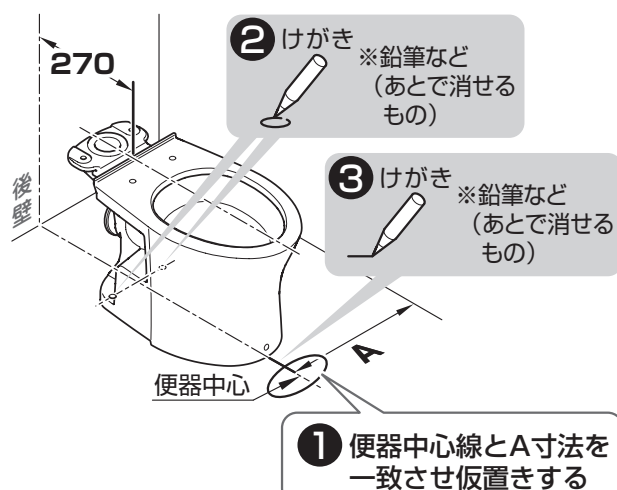
防振シート



(1箱)

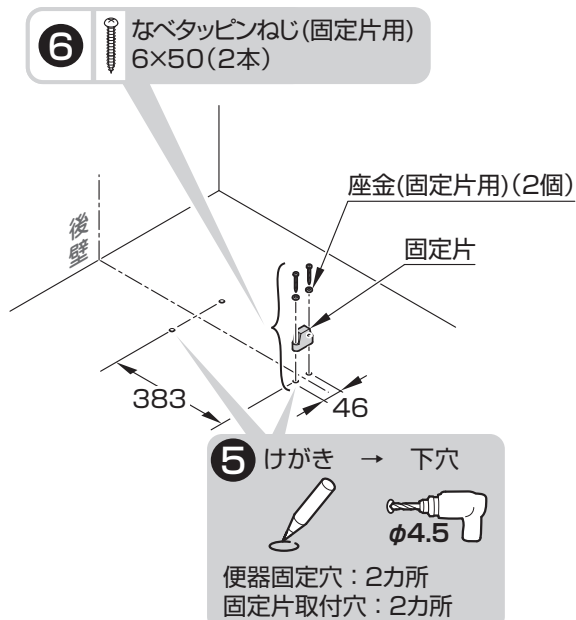
MEMO

1 大便器の仮設置



立管なし	立管あり(隠ぺい)	立管あり(露出)
A: 間口中心	A: 240	

4 便器をいったん外す



防振シートの取り付け(防振シートありの場合)

参照 防振シートに同梱の施工説明書

2 排水接続管の取り付け・接続

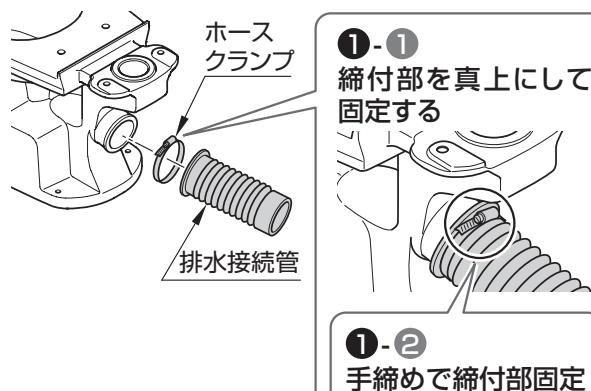
! 注意



禁止

ホースクランプは、電動ドライバーで締め付けない
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、
家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

後ろ抜き



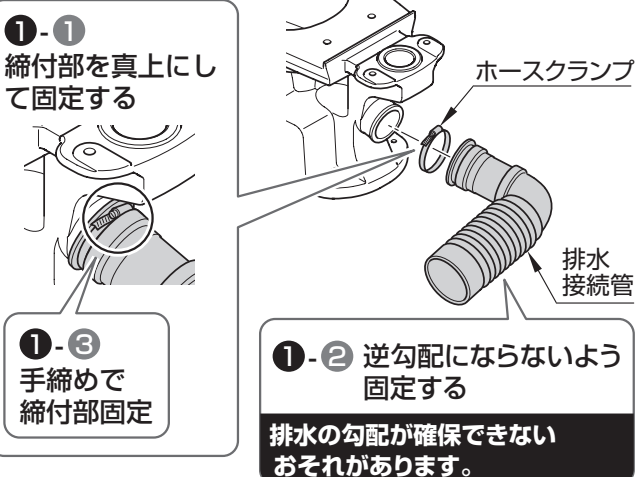
左右抜き

! 注意

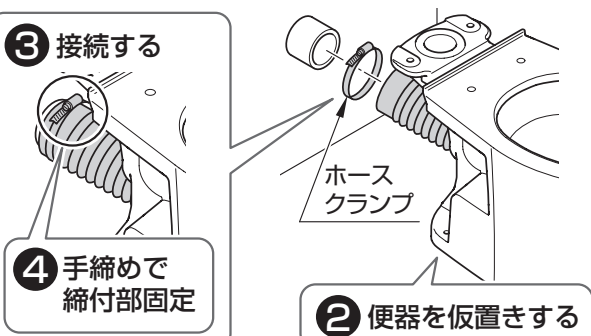


必ず守る

排水管の高さにあわせて適切な角度で
排水接続管を接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

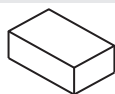


後ろ抜き・左右抜き 共通



6. コアキャビネット

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

付属材セット

バインドタッピンねじ
4×8(2本)

ねじセット(キャビネット用)

ボードアンカー
(4本)

トラスタッピンねじ
4×40(6本)

【手洗器ありの場合】

取付材セット



取付材
(1個)



結束バンド
(2個)※



トラス
タッピンねじ
4×10(2本)

※残り1個は7.セットタンクで使用

ワイヤーセット



ワイヤー
(1本)

ホースクランプセット



ホース
クランプ
(2個)



トラス
タッピンねじ
4×12(2本)

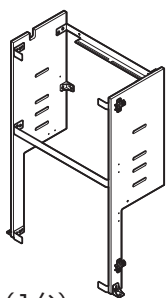
※右立管ありの場合、1セットのみ使用



コアキャビネット

コアキャビネット

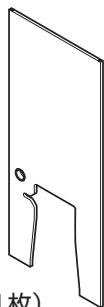
コアキャビネット組品



(1台)

※タイプによって形状が
異なります。

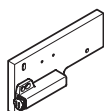
前板組品



(1枚)

※図はまるごと収納タイプ

側板組品(左)

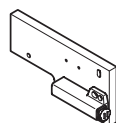


側板組品
(1枚)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

側板組品(右)



側板組品
(1枚)

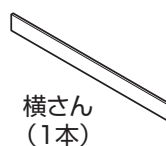


トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

天板セット

【手洗器あり】 【手洗器なし】

取付材セット(横さん)



横さん
(1本)



皿タッピンねじ
4×50(3本)

※図は手洗器あり



その他包装

エンドパネル

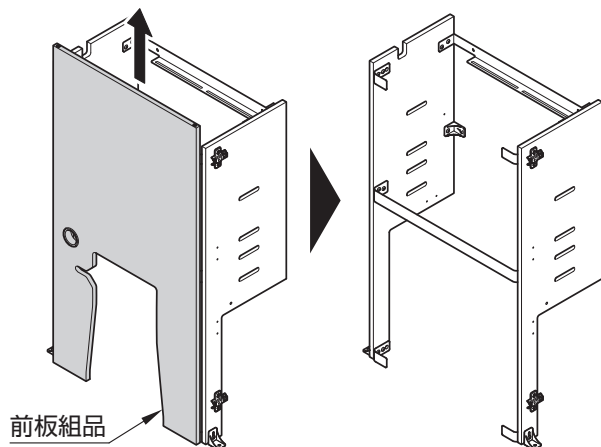
ねじセット



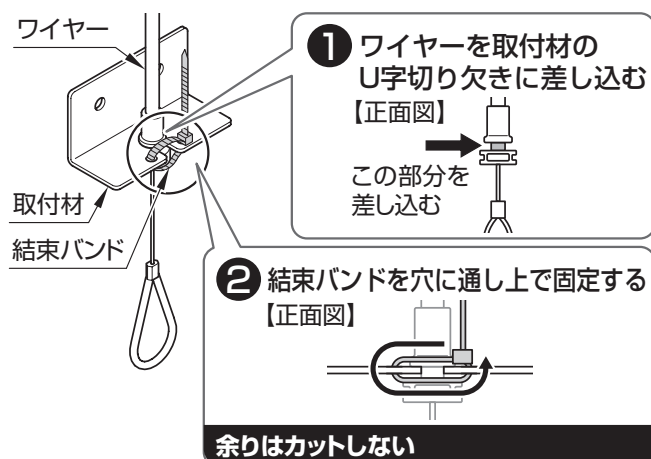
トラス小ねじ
4×18(2本)

1 前板組品の取り外し

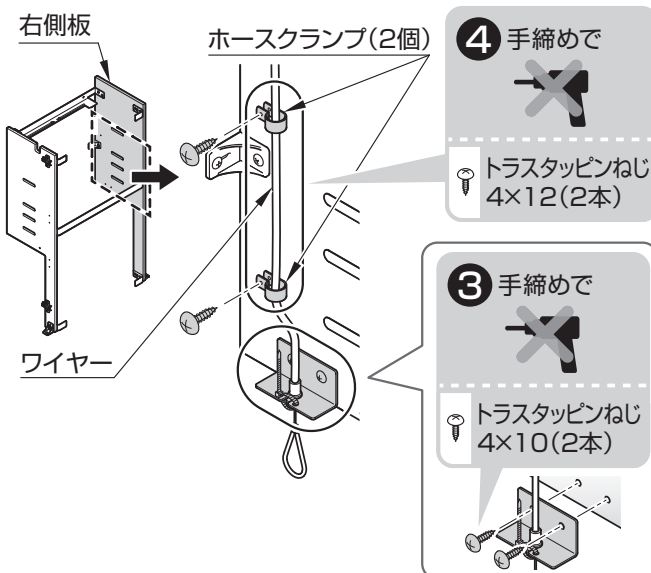
1 前板組品をコアキャビネット組品から取り外す



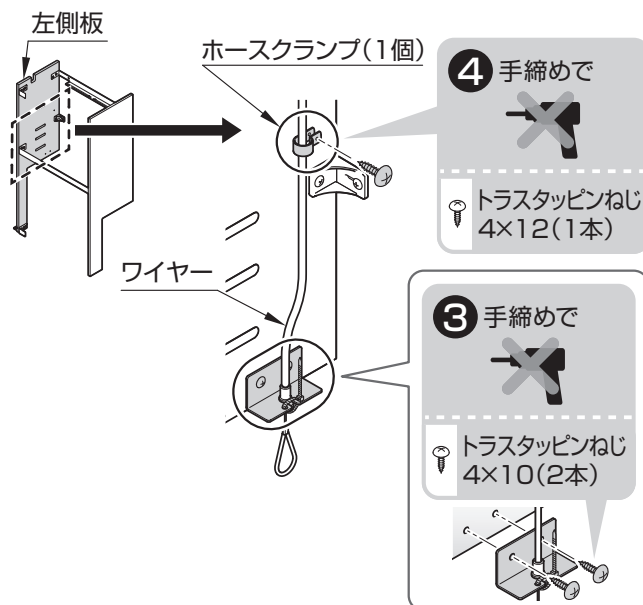
2 ワイヤーの取り付け 手洗器なしの場合は 3 へ



立管なし、左立管あり



右立管あり



3 コアキャビネット組品の取り付け

立管なし

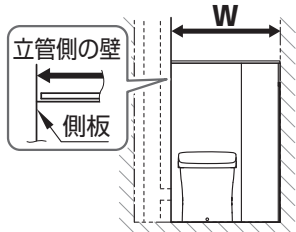


立管あり

1 測定



【隠ぺいタイプの場合】



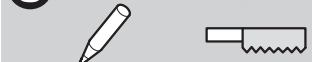
【露出タイプの場合】



2 測定



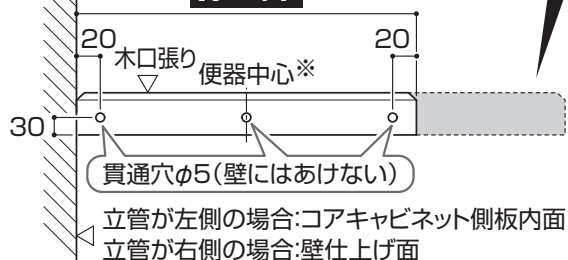
3 けがき → 右側カット

チッピングに
注意すること

木口張り

木口張り面
からカットする

W-17



※壁裏補強なしの場合は間柱中心

まるごと収納タイプの場合

▶P.33

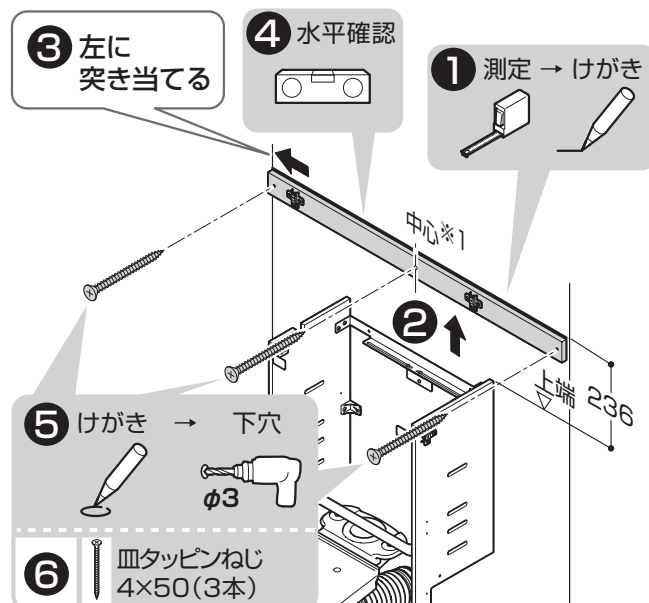
収納タイプの場合

▶P.35

まるごと収納タイプ

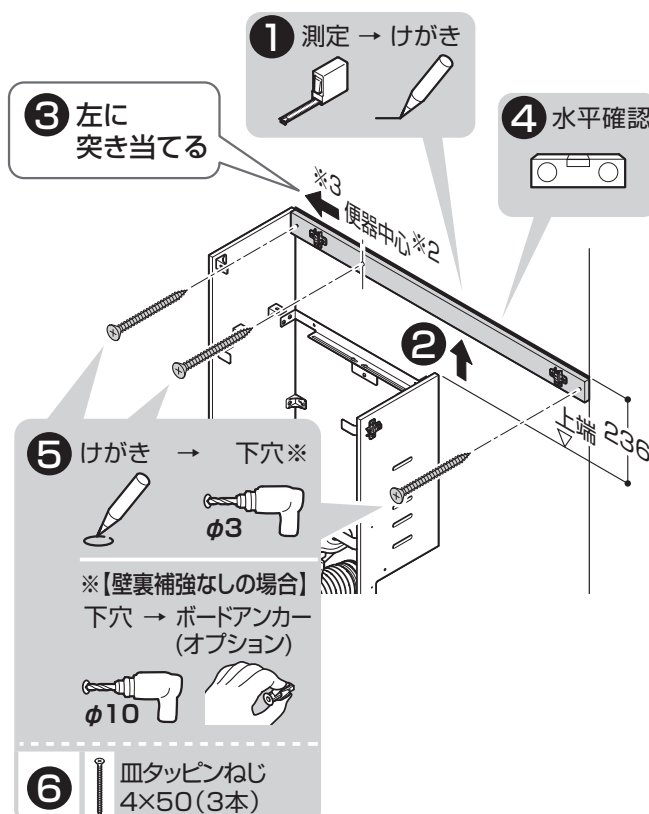
5 横さんの取り付け

立管なし



※1 壁裏補強なしの場合は間柱中心

立管あり



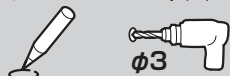
※2 壁裏補強なしの場合は間柱中心

※3 立管が左側の場合:コアキャビネットに突き当てる
立管が右側の場合:壁仕上げ面に突き当てる

6 側板組品の取り付け

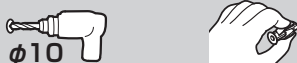
立管なし

④ けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



⑤ トラストッピンねじ
4×40(左右各2本)

エンドパネルありの場合

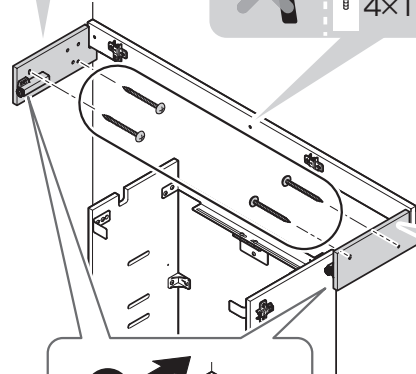
手締めで「エンドパネル」同梱



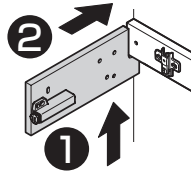
トラス小ねじ
4×18(2本)

必ず使用
すること

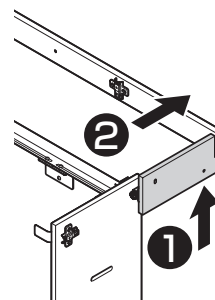
③ 水平確認



③ 水平確認



左立管あり

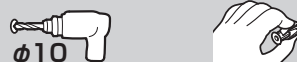


④ けがき → 下穴※



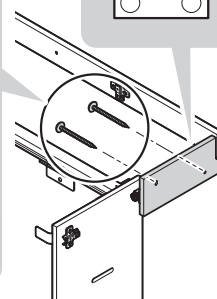
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)

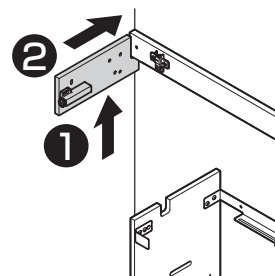


⑤ トラストッピンねじ
4×40(2本)

③ 水平確認



右立管あり

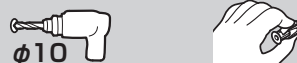


④ けがき → 下穴※



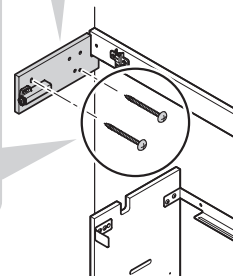
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



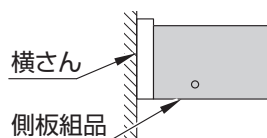
⑤ トラストッピンねじ
4×40(2本)

③ 水平確認

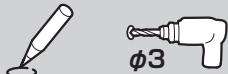


左立管あり

- ②** 横さん下端面にあわせる
【A方向から見た図】

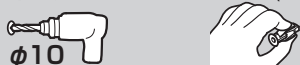


- ④** けがき → 下穴※



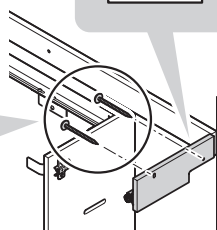
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



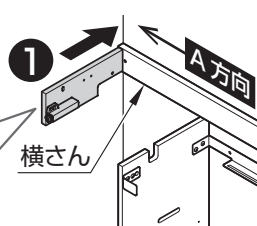
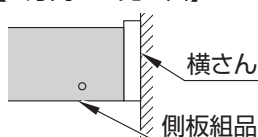
- ⑤** トラストッピンねじ
4×40(2本)

- ③** 水平確認

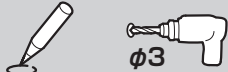


右立管あり

- ②** 横さん下端面にあわせる
【A方向から見た図】

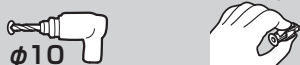


- ④** けがき → 下穴※



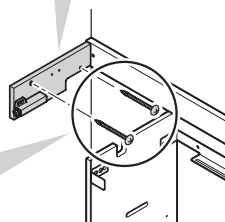
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



- ⑤** トラストッピンねじ
4×40(2本)

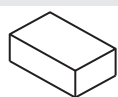
- ③** 水平確認



MEMO

7. セットタンク

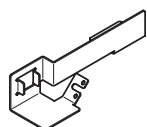
使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

取付材セット



取付材
(洗浄レバー)
(1個)



トラス
タッピンねじ
5×14(2本)

付属材セット



洗浄レバー
(1個)

ねじセット(キャビネット用)



トラスタッピンねじ
4×12(1本)

※手洗器ありの場合には同梱されていません。
※立管あり まるごと収納タイプ以外は使用しません。

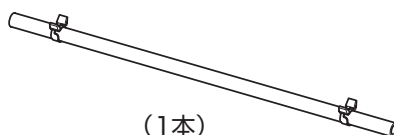
【手洗器ありの場合】

取付材セット

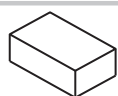


棚ダボ
(1本)
※使用しません。

給水ホースセット

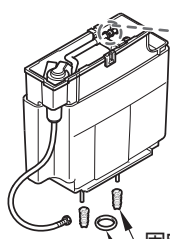


(1本)



コアキャビネット

セットタンク

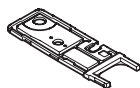


(1個)

固定ナット
パッキン

ピン(1個)

※ピンはジョイント端
に付いています。



カバー(A)
(1個)

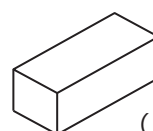


カバー(B)
(1個)



その他包装

便器洗浄ユニット



(1箱)

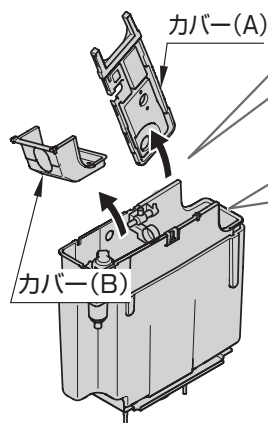
1 セットタンクの取り付け

⚠ 注意



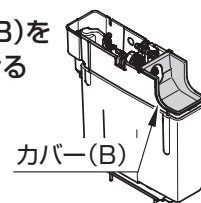
必ず守る

カバー(B)がしっかり閉まっていることを確認する
カバー(B)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



① カバー(A)と
カバー(B)を取り出す

② カバー(B)を
取り付ける

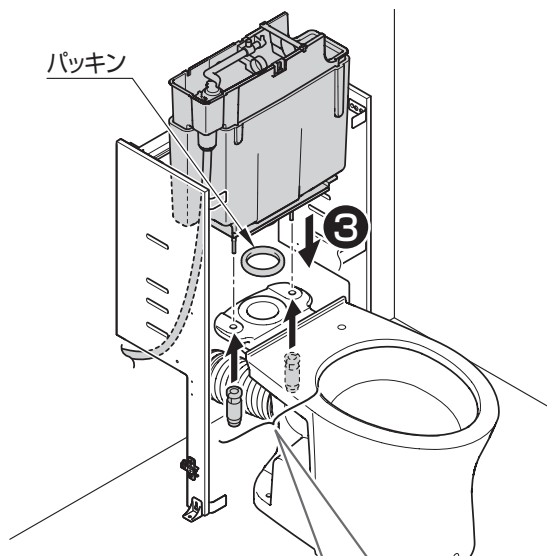


⚠ 注意



必ず守る

セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠ 注意



必ず守る

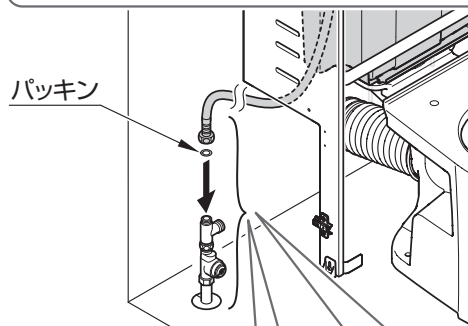
左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず
手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

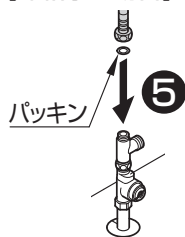


④ 手締めでかたく締め付ける

破損防止



【床給水の場合】

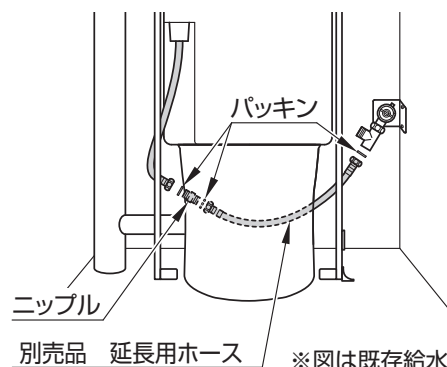


【壁給水の場合】



立管が左側にある場合は
右図参照

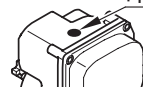
左立管あり



2 洗浄レバーの組み立て

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。

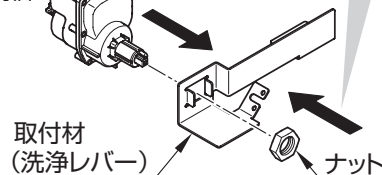
① 印を上に向けて取り付ける 印



本体

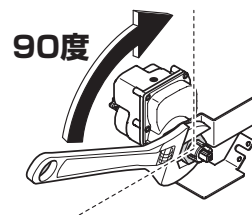
「便器洗浄
ユニット」同梱② しっかり
締め付ける

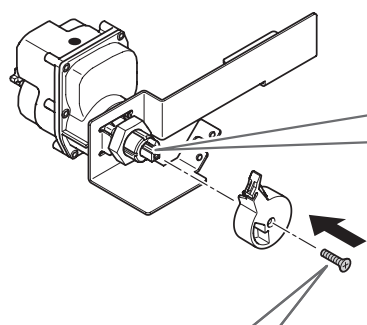
ナットが取付材
(洗浄レバー)の
つめに当たる
まで締める



「便器洗浄ユニット」同梱

③ モンキーレンチでナットを90度増し締めする





④ 軸の凸と
洗浄レバーの
凹をあわせる
【洗浄レバー裏面】



⑤ しっかり
締め付ける

手締めで

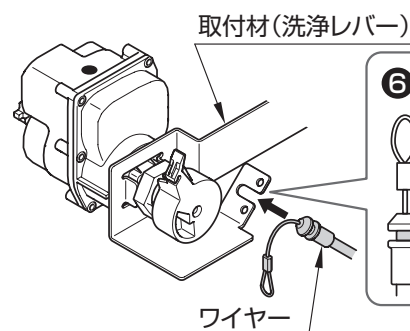


「便器洗浄ユニット」同梱

皿ねじ
3×10(1本)

ガタツキ防止

手洗器あり ※手洗器なしの場合は **3** へ

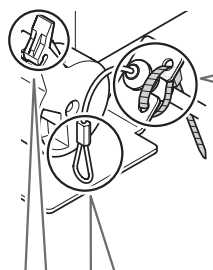


取付材(洗浄レバー)

ワイヤー

⑥-①

ワイヤーをU字
切り欠きに差し
込む
この部分を
差し込む



⑥-②

結束バンドを
下で固定する



余りはカットしない

⑥-③

ワイヤーを突起側
から通す



⑥-④

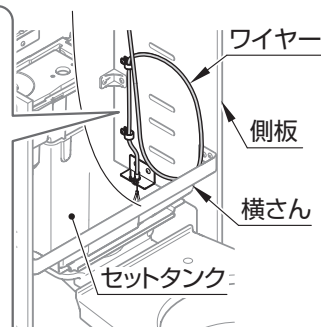
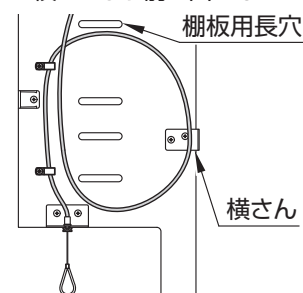
「パチン」と奥まで
通す



⑥-⑤

ワイヤーを1巻きしてセット
タンクと側板の間におさめる

※棚板用の長穴に重ねない
※横さんより前に出さない



ワイヤー

側板

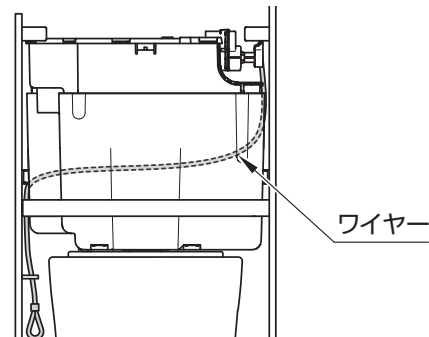
横さん

セットタンク

横さん

右立管あり ※それ以外の場合は **3** へ

⑦ ワイヤーはセットタンクの裏を通す



ワイヤー

3 洗浄レバーの取り付け

② 手締めで

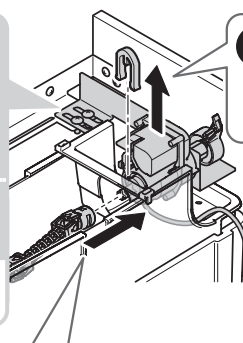


仮固定

トラスタッピンねじ
5×14(2本)

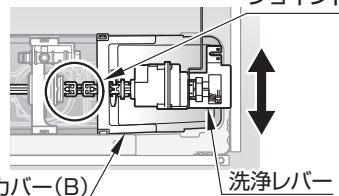
「付属材セット(キャビネット)」
同梱

① ジョイント
からピンを
引き抜く



③ カバー(B)に干渉しないように洗浄レバーを
位置調整し、ジョイントを差し込む

ジョイント

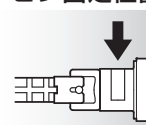


カバー(B)

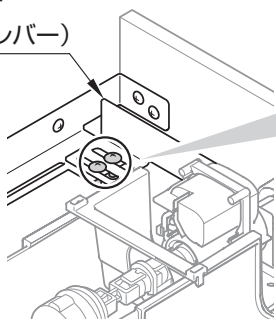
洗浄レバー

④ カチッと音がするまでピンを
差し込む

ピン固定位置

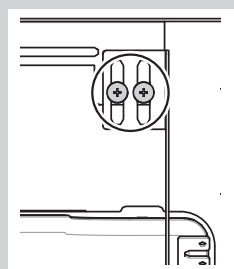


⑤ ジョイントが抜けないことを
確認する

取付材
(洗浄レバー)

⑥ 手締めで

本固定

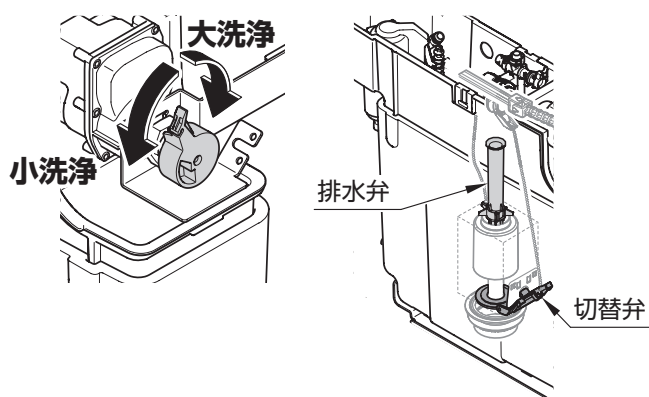


4 洗浄レバーの作動確認

洗浄レバー

① 作動確認

- ☐ 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることを確認すること

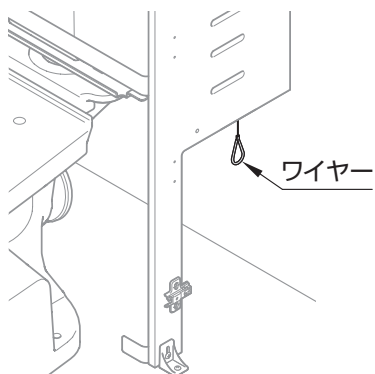


手洗器あり

ワイヤー

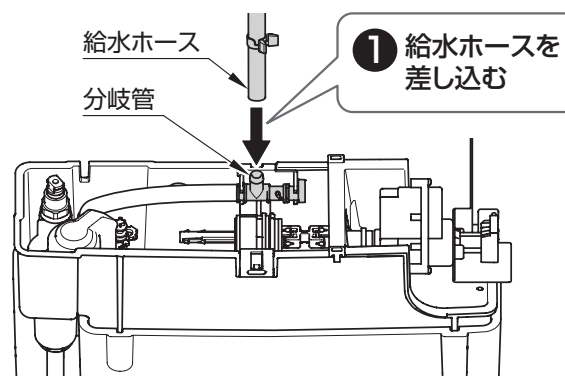
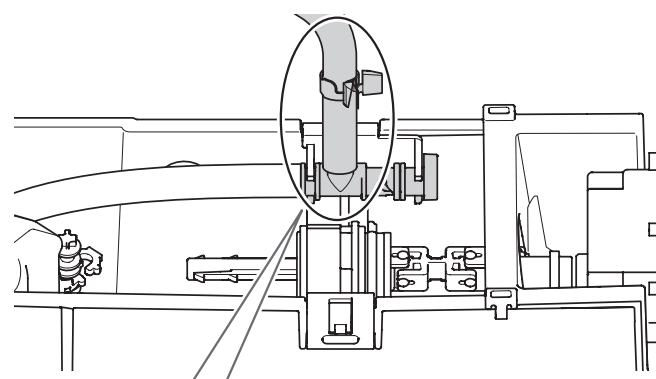
② 作動確認

- コアキャビネット内のワイヤーを操作する
その際の洗浄レバーの動きも確認する
- ☐ レバーが動くこと
- ☐ スムーズに動作すること



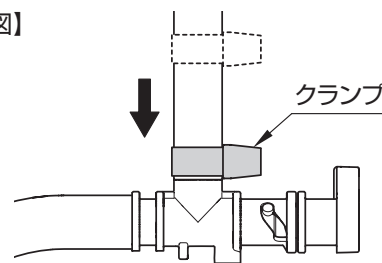
5 給水ホースの固定

手洗器あり

① 給水ホースを
差し込む

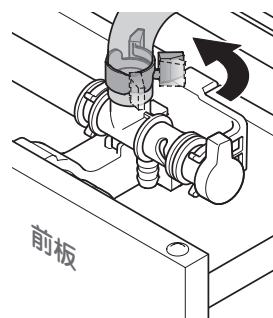
② クランプをつまんで移動し、分岐管とホースを 締め付ける

【正面図】



ホースの先端が突き当たるまで差し込むこと

③ クランプのつまみを後ろに向ける



前板

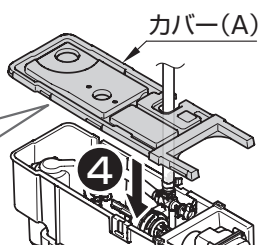
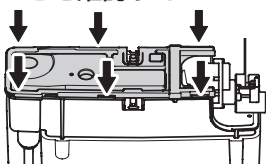
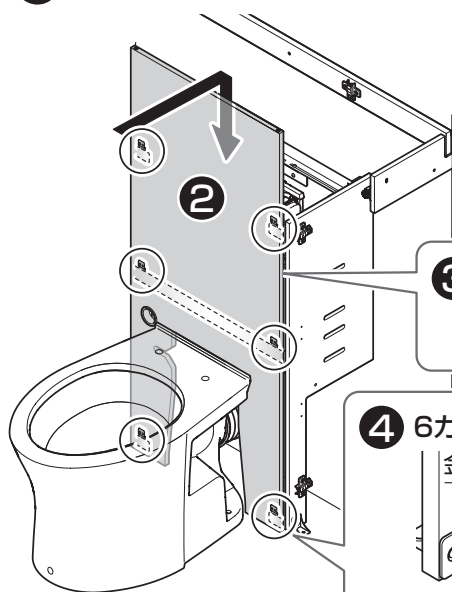
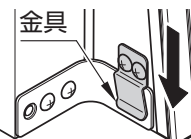
手洗器あり / 手洗器なし 共通

⚠ 注意

必ず守る

カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する

カバー(A)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

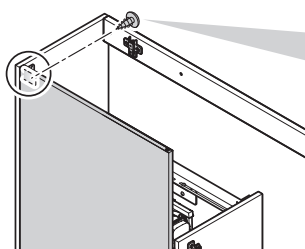
⑤ 浮き上がっていないことを確認する**6** 前板組品の取り付け**①** 便器を少し前に出す**③** ワイヤーを挟まないように押さえる**④** 6カ所引っ掛ける

立管あり(まるごと収納タイプ)

⑤ 手締めで

トラスタッピンねじ
4×12(1本)

「ねじセット(キャビネット用)」
同梱



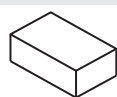
MEMO

7

セットタンク

8. 大便器

使用部材



その他包装

大便器



皿木ねじ
5.8×56
(1本)



木ねじ
6.2×63(後)
(2本)



化粧キャップ(後)
(2個)



ワッシャー
(後部固定用)
(2枚)



化粧キャップ(前)
(1個)

8

大便器

1 大便器の固定

② 手締めで



木ねじ
6.2×63(後)
(2本)

最後の増し締めは
締め過ぎないこと

向きに注意



化粧キャップ(後)
ワッシャー
(後部固定用)

割れ防止



① 前板に押し
当てる

③ 手締めで

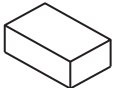
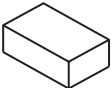
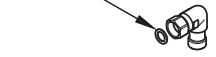
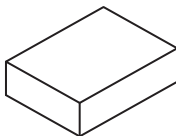
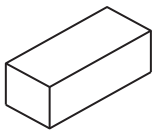


皿木ねじ
5.8×56
(1本)

MEMO

9. ウォシュレット

使用部材

 詰め合わせ箱	 その他包装		
止水栓	大便器	ウォシュレット	便器洗浄ユニット
【既存給水流用】 パッキン  給水アダプター (1個) ※左立管ありの場合には 同梱されていません。	 サイドカバー(左) (1個)  サイドカバー(右) (1個)	 (1箱)	 (1箱)

MEMO

1 ウォシュレットの設置

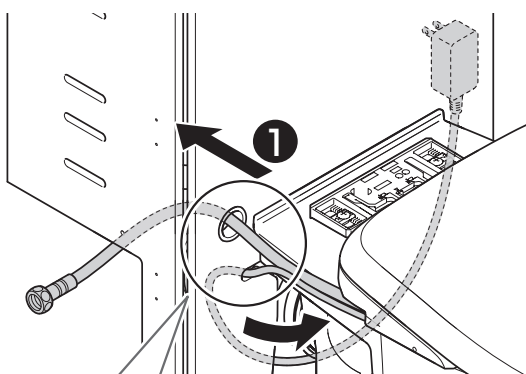
- ① 作業がしやすいように、ウォシュレットを手前に引き出し傷つかないように養生する

参照 ウォシュレットの施工説明書

既存給水流用 左立管ありの場合

給水ホースをウォシュレット用給水ホース(別売品)と交換する

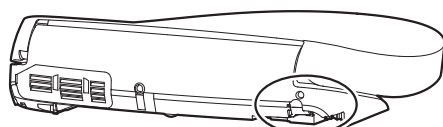
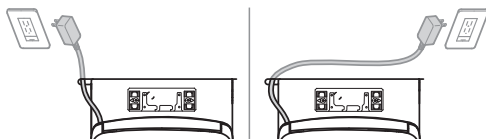
2 給水ホース・電源コードの取り回し



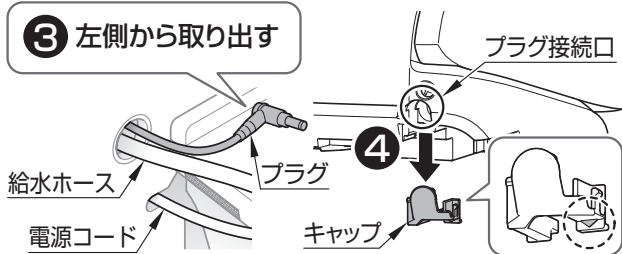
- ②-① 電源コードを
前板の切り欠きに
引っ掛ける

電源コード

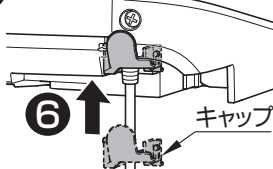
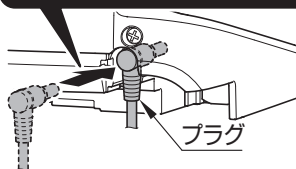
- ②-② コンセント側に通す



- ③ 左側から取り出す



- ⑤ 根元まで確実に差し込む



- ⑦ 引き出したウォシュレットを取り付ける

3 給水ホースの接続

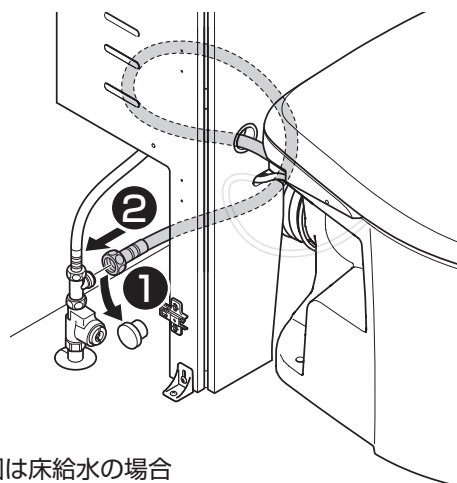
⚠ 注意



禁止

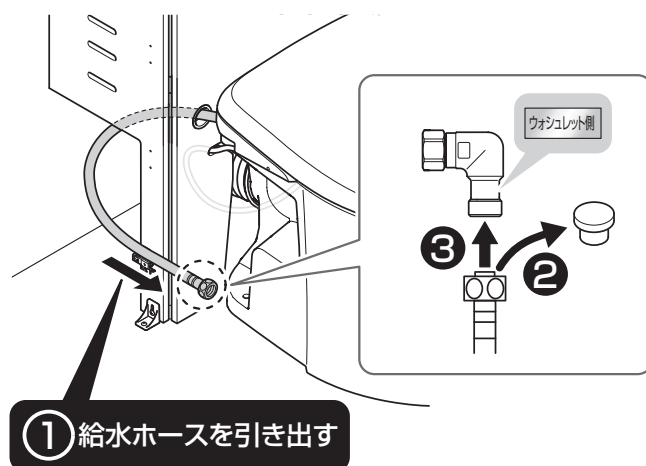
給水ホースを折り曲げたりしない
水漏れの原因となります。

給水新設の場合

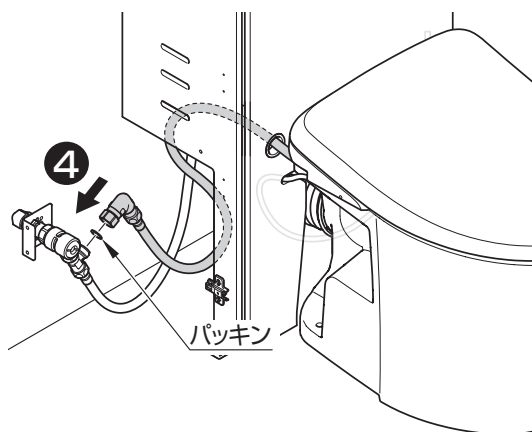


※図は床給水の場合

既存給水流用の場合

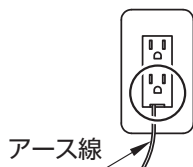


- ① 給水ホースを引き出す



4 アース線の接続

① アース線のみアースターミナルに取り付ける



⑧ 作動確認

※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



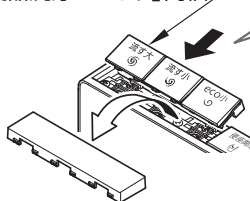
※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

5 リモコンの設定・作動確認

① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン
「便器洗浄ユニット」同梱



② 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。

③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

④ ビデ/ワイド と 水勢 - を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



⑤ おしり/ソフト 水勢 - 水勢 + の順に押す



⑥ ビデ/ワイド 水勢 + を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

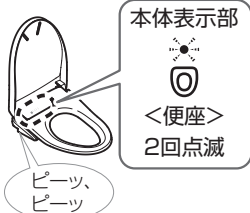


⑦ おしり/ソフト 水勢 - おしり/ソフト の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する

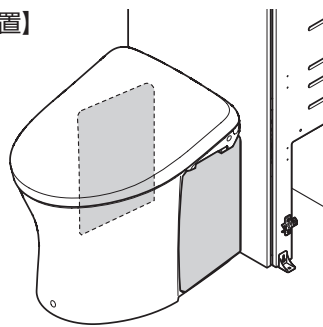
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。

手順③に戻り設定しなおしてください。



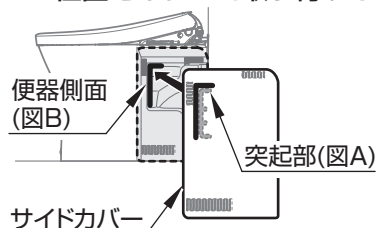
6 サイドカバーの取り付け

【カバーの位置】

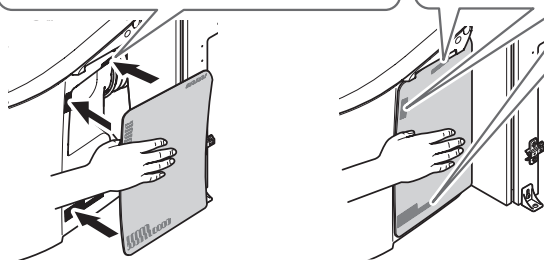


取り付けかた

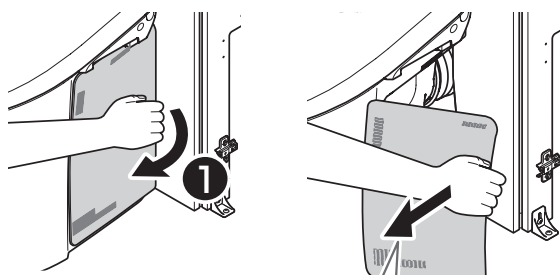
① サイドカバーの裏面突起部(図A)と便器側面(図B)の位置をあわせて取り付ける



② 面ファスナー部(3カ所)をしっかりと押し外れないことを確認する



取り外しかた



② 後方から手前方向に引っ張る